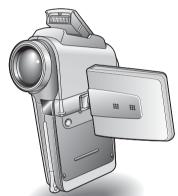
取扱説明書

デジタルムービーカメラ

品番 DMX-HD2

準　備 ▶

基本操作 ▶

撮影設定 ▶

再生設定 ▶

オプション設定 ▶

他の機器との接続 ▶

CD-ROMを使う ▶

付　録 ▶

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

この商品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

- 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

本書の読みかた

本書は、本製品の使いかたを以下のように分類して説明しています。

撮影をするまでに、しなければならないことや、ぜひ知っておいていただきたいことを説明しています。

撮影と再生の基本操作を説明しています。

撮影に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

再生に関する、さまざまな設定のしかたを説明しています。

モニターの表示や操作音、さらにカメラの動作に関する設定のしかたを説明しています。

パソコンやプリンター、テレビへの接続のしかたを説明しています。

付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)の使いかたを説明しています。

カメラを使っていて困った状態になった時や仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたい時に、お読みください。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項

特に注意していただきたい事項

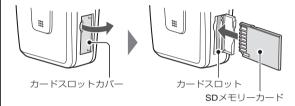
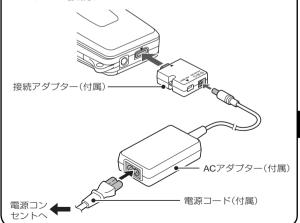
[P]　参照ページ

操作中に疑問に感じたり故障かな?と思った時は、「よくある質問[P209]」と「困った状態になった時 [P215]」をご参照ください。

撮る・見る そして保存する

準備する

1 SD メモリーカードを入れる

- カメラにSDメモリーカードは付属しておりません。市販品をお買い求めください。
- 本書では、SDメモリーカードを「カード」と表記します。

2 カメラに接続アダプターを装着し、AC アダプターを接続する

撮影する

動画クリップ撮影

1 モニターを開けて[ON/OFF]ボタンを約1秒以上押し、電源を入れる

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 動画撮影ボタン[ ]を押す

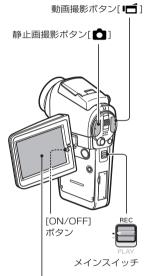
- 録画が始まります。
- もう一度動画撮影ボタンを押すと、録画を終了します。

静止画撮影

1 モニターを開けて[ON/OFF]ボタンを約1秒以上押し、電源を入れる

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 静止画撮影ボタン[ ]を押す

- 撮影します。

再生する

動画クリップ再生

1 メインスイッチを [PLAY] に合わせる

- 再生画面に切り替わります。
- [SET]ボタンを左右に押して、再生する動画クリップを出してください。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

2 [SET] ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- メインスイッチを[REC]に合わせると、撮影画面に戻ります。

静止画像再生

1 メインスイッチを [PLAY] に合わせる

- 再生画面に切り替わります。
- [SET]ボタンを左右に押すと、他の画像が見れます。
- メインスイッチを[REC]に合わせると、撮影画面に戻ります。

<例：動画クリップ撮影後>

使い終わったら・・

[ON/OFF]ボタンを約1秒以上押して電源を切ってください。

撮る・見る そして保存する(つづき)

撮影した動画クリップをDVDに書き込む(Windows XPの場合)

付属の CD-ROM(SANYO Software Pack:サンヨーソフトウェアパック)を使うと、撮影した画像をパソコンに取り込んだり、DVD に書き込むことができます。なお、SANYO Software Pack の詳しい紹介は、184 ページに掲載しております。

アプリケーションプログラムをインストールする

1 付属の CD-ROM(SANYO Software Pack)をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

- インストール画面が出ます。

2 インストールするアプリケーションプログラムをクリックする

画像をパソコンに取り込むアプリケーションプログラム(フォトエクスプローラ)をインストールします。

画像をDVDに書き込むアプリケーションプログラム(ムービーライター)をインストールします。

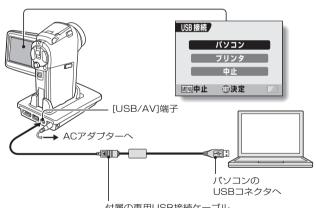
- クリックした後は、画面表示に従ってインストールしてください。
- インストールが終わると製品登録の画面が出ますが、クローズボックスをクリックして閉じてください。

3 インストール画面の [終了] をクリックし、パソコンの CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出す

＜ Kodak（コダック） オンラインサービスについて＞

● インストール画面が閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。[あとでおすすめ情報を見る] オプションボタンをON にして、[OK]ボタンをクリックしてください。

カメラをパソコンに接続する

付属の専用 USB 接続ケーブルで、カメラをパソコンに接続してください [P160]。

動画クリップをパソコンにコピーする

フォトエクスプローラを起動してカメラ内のデータの場所(コピー元)を設定し、動画クリップをパソコンにコピーしてください [P191]。

動画クリップを DVD に書き込む

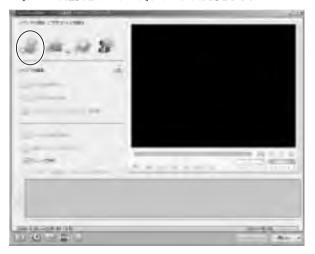
1 デスクトップの[DVD MovieWriter 5 for Sanyo]アイコンをクリックし、MovieWriter(ムービーライター)を起動する

- MovieWriterの初期画面が出ます。
- 商品の登録画面が出た場合は、[後で登録する]を選んでください。

2 [新規プロジェクト] をクリックする

- [ビデオディスクの作成]ウィンドウが開きます。

3 [DVD] オプションボタンを ON にし、[OK] ボタンをクリックする

- [ソースの選択とインポート]ウィンドウが開きます。

4 [ビデオファイルを追加] アイコンをクリックする

[ビデオファイルを追加]アイコン

- [ビデオ ファイルを開く]ダイアログが開きます。
- ファイルがあるフォルダ(My Documents¥SANYO_PEX¥日付フォルダー)を開いてください。

5 DVD に書き込む動画クリップファイルを指定する

- DVDに書き込むファイルをクリックして選んでください。
- 複数のファイルを個別に指定する場合は、[Ctrl]ボタンを押しながらファイルをクリックしてください。先頭のファイルを選び、[Shift]ボタンを押しながら最後のファイルをクリックすると、先頭から最後までのファイルを選ぶことができます。

6 [開く] ボタンをクリックする

＜動画クリップを1個選んだ場合＞

- [ビデオ ファイルを開く]ダイアログが閉じます。

＜複数の動画クリップを選んだ場合＞

- [クリップの並べ替え]ダイアログが開きます。
- クリップファイル名をドラッグすると、動画クリップの再生順序を変えることができます。
- [OK]ボタンをクリックすると、[クリップの並べ替え]ダイアログが閉じます。

- 操作5で選んだファイルが、[ソースの選択とインポート]ウィンドウに出ます。

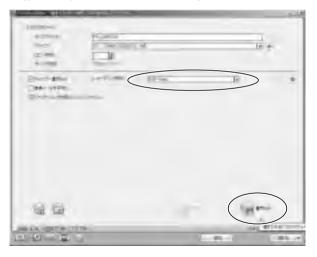
7 [次へ＞] ボタンをクリックする

- 作成するDVDのタイトル画面を編集する画面が出ます。

8 お好みに応じてタイトル画面を設定し、[次へ>] ボタンをクリックする

- タイトル画面を確認する画面が出ます。

9 [次へ>] ボタンをクリックする

- [[書き込み]ボタンを押してDVDを作成]ウィンドウが出ます。

10 [レコーディング形式:]を[DVD-Video]にする

11 パソコンに DVD のブランクディスクをセットし、[書き込み] アイコンをクリックする

- 書き込みを実行する確認画面が出ます。

12 [OK] ボタンをクリックする

- 書き込みを開始します。
- 書き込みが終わったら、書き込みの完了を示すダイアログが出ます。

13 [OK] ボタンをクリックする

- DVDがドライブから出てきます。

＜プロジェクトの保存について＞

- 書き込みが終わったら、プロジェクト保存のダイアログが出ます。今回、設定した情報を次回以降にも利用する場合は保存してください。利用しない場合は、保存する必要はありません。

14 [OK] ボタンをクリックする

- MovieWriterの初期画面に戻ります。

15 MovieWriter（ムービーライター）の終了ボタン [×] をクリックする

- DVDが完成しました。
- MovieWriterが終了します。

いかがでしたか？このように、このカメラは撮影した画像がすぐに見ることができるばかりではなく、パソコンに取り込んだりオリジナルの DVD を作成することができる便利な付属品を備えております。以降の説明をお読みになり、このカメラを十分に使った楽しいデジタルムービーライフをお楽しみください。

もくじ

■基本操作

■撮影設定

もくじ(つづき)

■再生設定

■カメラの設定

■他の機器との接続

もくじ(つづき)

■CD-ROMを使う

■付録

使いかた早見もくじ

このカメラには、便利な機能があります。「思いどおりの写真を撮りたい」「いろいろな方法で画像を見たい」という時には、このもくじを参考にして目的の操作を探してください。

撮影/録音

<table>
<tr><th>基本的な使いかた</th><th>便利な機能</th><th>さらに使うには</th></tr>
<tr><td colspan="3">暗い場所で撮影する
▶露出を補正する[P70]　▶フラッシュを使って撮影する[P68]
▶シーンセレクト機能を設定する（夜景ポートレートモード・花火モード・ランプモード）[P82]</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">カメラの感度を上げる
▶ＩＳＯ感度を設定する[P92]</td></tr>
<tr><td colspan="3">人物を撮影する
▶シーンセレクト機能を設定する（ポートレートモード・夜景ポートレートモード）[P82]
▶フィルターを設定する（コスメフィルター）[P85]
▶フラッシュを使って撮影する（赤目軽減）[P68]</td></tr>
<tr><td colspan="3">風景を撮影する
▶シーンセレクト機能を設定する（風景モード）[P82]</td></tr>
<tr><td colspan="3">自分も撮影して欲しい
▶セルフタイマーを設定する[P95]</td></tr>
<tr><td></td><td>明るく/暗く撮影する
▶露出を補正する[P70]
▶高感度モードで撮影する[P72]</td><td>一部分の明るさだけを測って撮影する
▶測光方式を設定する[P91]
カメラの感度を調整する
▶ＩＳＯ感度を設定する[P92]
より細かく露出を設定する
▶露出を設定する（マニュアル露出）[P83]</td></tr>
<tr><td></td><td>色を変えて撮影する
▶フィルターを設定する（モノクロフィルター・セピアフィルター）[P85]</td><td>白を自然に撮影する
▶ホワイトバランスを設定する[P93]</td></tr>
</table>

使いかた早見もくじ（つづき）

再生

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
とりあえず再生をする ►動画クリップ再生をする[P49]	**スピーカーの音量を調整する** ►再生音量を設定する[P104] **滑らかに再生する** ►スムーズ再生する[P128]	
►静止画再生をする[P54]	**画像/音声データを探す** ►9画面マルチ再生[P55] **画像の一部を大きく表示する** ►拡大（ズーム）表示をする[P58]	**表示の角度を変える** ►画像を回転表示する[P109] **ちょっと楽しく再生する** ►アートモード再生[P56]
►音声を再生する[P65]	**スピーカーの音量を調整する** ►再生音量を設定する[P104]	

スライドショー再生をする
►再生方式を設定する[P101]
►スライドショー再生をする[P103]

モニターの表示を明るく/暗くする
►モニターの明るさを設定する[P143]

テレビで再生する
►テレビに接続する[P169]

TV方式を設定する
►ＴＶ出力を設定する[P145]

データの管理/加工

基本的な使いかた　便利な機能　さらに使うには

画像/音声データを探す

►9画面マルチ再生[P55]

いらないデータを消す

►データを消去する[P107]

大切な画像を保護する

►プロテクト（消去禁止）を設定する[P105]

カードを初期化する

►カードをフォーマット（初期化）する[P154]

動画クリップの一部を削除したり、つなぎ合わせたりする

►動画クリップを編集する[P113]

印刷枚数やインデックスプリント、日付印刷の設定をする

►プリントを設定する[P122]

撮影/録音した時の情報を見る

►画像情報を表示する（インフォ画面）[P129]

付属品を確認する

●ハンドストラップとカメラケース：1式

●CD-ROM（SANYO Software Pack）：1枚

●リチウムイオン電池：1個

●ドッキングステーション：1個

●専用S-AV接続ケーブル：1本

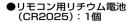
●専用USB接続ケーブル：1本

●専用D端子ケーブル ：1本

●ACアダプターと電源コード：1式

●リモコン：1個

●リモコン用リチウム電池
（CR2025）：1個

●レンズキャップとストラップ：1式

●接続アダプター：1個

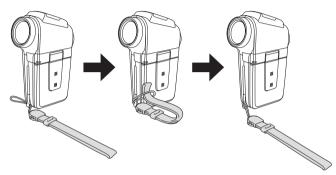
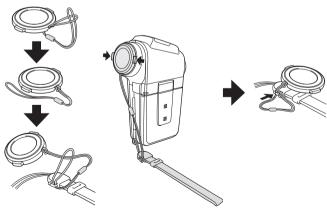
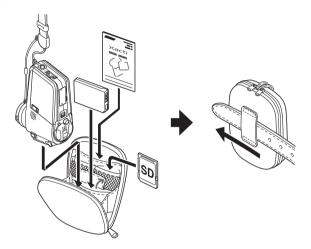
●マイク接続用ケーブル：1本

●コア：（小：2個、大：1個）
大：ACアダプター電源コード用
小：マイク接続用ケーブル、
HDMIケーブル用

●安全上のご注意（安全注意説明書）
※必ずお読みください。

●かんたん操作ガイド

付属品の使いかた

■ハンドストラップ

■レンズキャップ

■カメラケース

付属品を確認する（つづき）

別売品

- **リチウムイオン電池充電器（品番：VAR-L40）**
  付属または別売のリチウムイオン電池（品番：DB-L40）の充電器です。
- **リチウムイオン電池（品番：DB-L40）**
  付属品と同じ、リチウムイオン電池です。
- **ワイドコンバージョンレンズ（品番：VCP-L06W）**
  より広角に撮影するためのレンズです。
- **テレコンバージョンレンズ（品番：VCP-L14T）**
  より望遠に撮影するためのレンズです。
- **HDMIケーブル（品番：VCP-HDMI01）**
  [HDMI]端子に接続するケーブルです。

このカメラで使えるカードについて

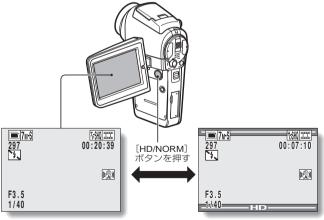
このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- **SDメモリーカード**

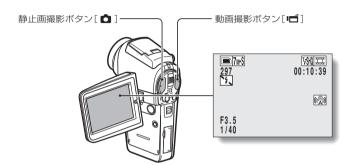
このカメラの楽しみかた

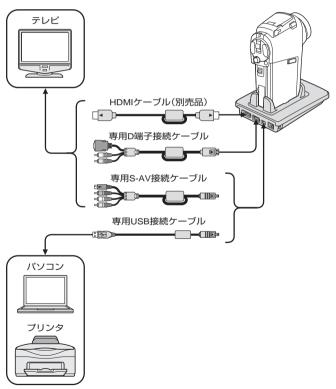
このカメラは、動画クリップの高画質撮影 / 再生機能を備えたデジタルムービーカメラです。縦横比 16:9 で動画クリップ撮影することができます。もちろん、高画質での静止画撮影機能も充実しており、動画クリップ撮影中に静止画を撮影することも可能です。
他の機器との接続はドッキングステーションによる簡単接続を可能にしており、高機能と扱いやすさを兼ね備えたカメラです。

ワイド(HDモード)で撮る/見る[P61]

通常の撮影(縦横比4：3、ノーマルモード)に加え、縦横比16：9のワイド画面(HDモード)で動画クリップを撮影/再生することができます。

<ノーマルモード撮影画面>　<HDモード撮影画面>

動画クリップを撮りながら静止画を撮る[P59]

動画クリップ撮影中、静止画で残しておきたいシーンがあったら、動画クリップ撮影を続けたまま静止画を撮影することができます。

ドッキングステーションで簡単接続

難しくて煩雑な、テレビやパソコンとの接続も、付属のドッキングステーションにカメラを乗せるだけ。
テレビでもパソコンでも、撮った画像をすぐに見ることができます。

システムマップ

このカメラは、さまざまな機器に接続することで、さらに楽しくお使いいただくことができます。

各部の名前

カメラ

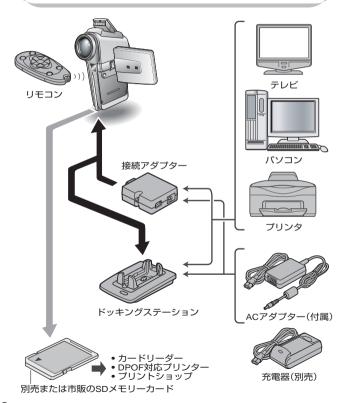
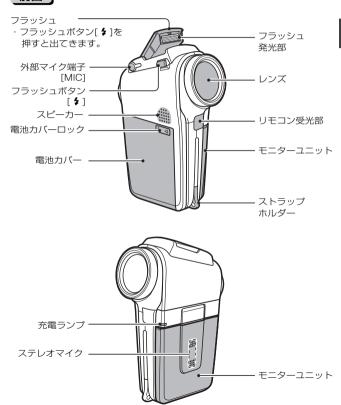
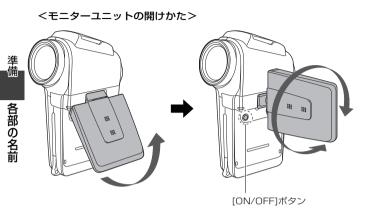
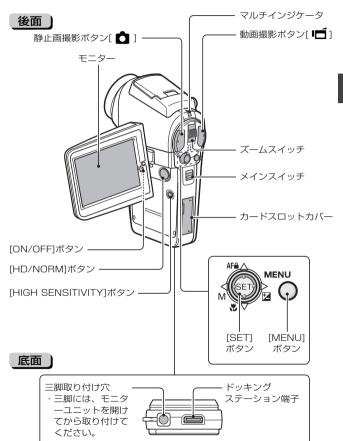
前面

フラッシュ
・フラッシュボタン[⚡]を
押すと出てきます。
フラッシュ
発光部
外部マイク端子
[MIC]
レンズ
フラッシュボタン
[⚡]
スピーカー
リモコン受光部
電池カバーロック
モニターユニット
電池カバー
ストラップ
ホルダー
充電ランプ
ステレオマイク
モニターユニット

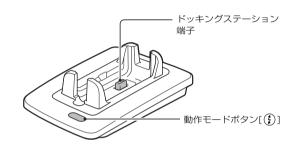
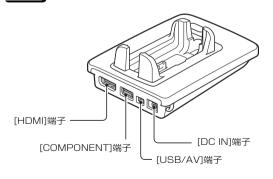
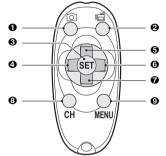
各部の名前（つづき）

<モニターユニットの開けかた>

後面

後面
静止画撮影ボタン[ ]
モニター
マルチインジケータ
動画撮影ボタン[ ]
ズームスイッチ
メインスイッチ
カードスロットカバー
[ON/OFF]ボタン
[HD/NORM]ボタン
[HIGH SENSITIVITY]ボタン
AF
MENU
SET
M
[SET]
ボタン
[MENU]
ボタン
底面
三脚取り付け穴
・三脚には、モニターユニットを開けてから取り付けてください。
ドッキング
ステーション端子

各部の名前(つづき)

ドッキングステーション

前面

後面

リモコン

＜撮影モード時＞

❶静止画撮影ボタン
❷動画クリップ撮影ボタン
❸[SET]ボタン
❹[SET]ボタンを左側に押した時と同じ働きをします。
❺[SET]ボタンを上側またはズームスイッチを[T]([ ])側に押した時と同じ働きをします。
❻[SET]ボタンを右側に押した時と同じ働きをします。
❼[SET]ボタンを下側またはズームスイッチを[W]([ ])側に押した時と同じ働きをします。
❽[CH]ボタン
❾[MENU]ボタン

＜再生モード時＞

❶動作しません。
❷動作しません。
❸[SET]ボタン
❹[SET]ボタンを左側に押した時と同じ働きをします。
❺[SET]ボタンを上側に押した時と同じ働きをします。
❻[SET]ボタンを右側に押した時と同じ働きをします。
❼[SET]ボタンを下側に押した時と同じ働きをします。
❽[CH]ボタン
❾[MENU]ボタン

※ショートカット機能は動作しません。

接続アダプター

ドッキングステーション端子

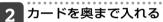
[DC IN]端子

[USB/AV]端子
※専用D端子ケーブル(付属)は接続できません。

カードを装着する

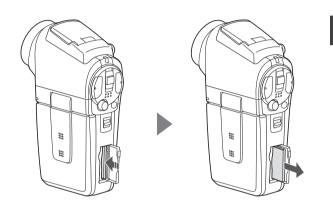
購入直後のカードや他の機器で使っていたカードは、必ずフォーマットしてから使ってください [P154]。フォーマットせずに使うと、カード本来の機能を活かせない場合があります。

1 カードスロットカバーを開け、カードスロットにカードを入れる

2 カードを奥まで入れる

- カチッと音がするまで、しっかりと入れてください。

3 カードスロットカバーを閉じる

<カードの取り出しかた>

- カードを取り出す時は、カードを押してください。カードを押すと、カードが少し出ますので、そのまま引き抜いてください。

注意!

カードは無理に抜かない

- カードやカード内のデータを破損するおそれがあります。

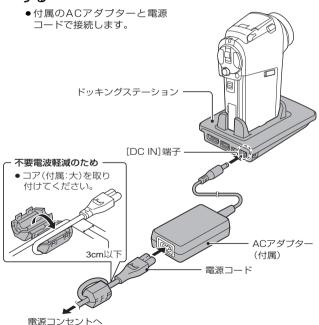
マルチインジケータが赤色で点滅している時は・・・

- 絶対にカードを取り出さないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

ドッキングステーションを準備する

付属のドッキングステーションは、パソコンやプリンタ、テレビに接続したり、カメラに装着した電池を充電する場合に使います。

1 ドッキングステーションを電源コンセントに接続する

- 付属のACアダプターと電源コードで接続します。

リモコンを準備する

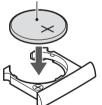
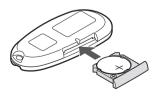
このカメラは、リモコンを使って撮影 / 再生ができます。

電池を入れる

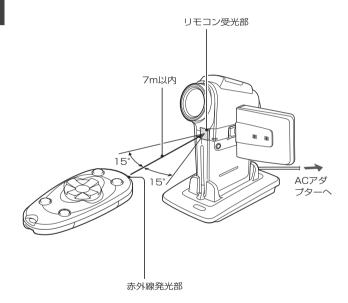
付属のリモコン用リチウム電池(CR2025)をリモコンに装着します。

1 リモコンの電池ホルダーを引っ張り出す

2 付属のリモコン用リチウム電池を入れる

- 電池は、柔らかい乾いた布で拭いてから入れてください。
- プラス(⊕)を上にして入れてください。

3 電池ホルダーを入れる

リモコンを準備する(つづき)

リモコンの使いかた

リモコンで操作できるのは、カメラ正面のリモコン受光部から水平左右15度直線距離で約7m以内の範囲です。リモコン受光部と、リモコンの間に障害物があると、操作できない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。

注意!

- 太陽光の下やインバーター照明の近くでリモコン操作をする場合、リモコンの到達距離が短くなることがあります。これは、赤外線リモコンの特性によるもので、故障ではありません。誤動作防止のため、リモコン操作時は、リモコン受光部に強い光を当てないように注意してください。

リモコンコードの切り替えかた

このカメラのリモコンは、赤外線リモコン操作のできる、他の当社製カメラにも働きます。当社製カメラを 2 台ご使用の場合、1 台のカメラのリモコンコードを切り替えると、誤操作を防止できます。お買い上げの際は、[リモコンコード 1] に設定しています。

＜カメラの[リモコンコード１]を[リモコンコード2]に変更する時＞

1 リモコンの赤外線発光部を、カメラのリモコン受光部に向ける

2 [CH] ボタンを押したまま、[▼] ボタンを約３秒間押し続ける

3 リモコンの操作ボタンを押して、カメラの動作確認をする

- リモコンやカメラの電池を交換しても、設定したリモコンコードを記憶しています。
- カメラとリモコンのリモコンコードが一致していないと、リモコンでの操作はできません。

＜[リモコンコード1]に戻すには＞

1 リモコンの赤外線発光部を、カメラのリモコン受光部に向ける

2 [CH] ボタンを押したまま、[▲] ボタンを３秒間押し続ける

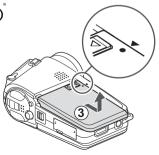
電源を準備する

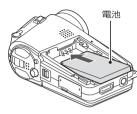
付属の電池は、充電してから使ってください。ドッキングステーションまたは接続アダプターを使うと、電源コンセントから電源を取ることができます。

充電する

1 電池カバーロックを押しながらスライドし(①)、カメラ底面方向へ電池カバーを引っ張る(②)

2 電池カバーを開ける(③)

- 電池カバーがはずれます。

3 電池を装着する

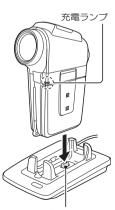
- 向きに注意して装着してください。

4 電池カバーを閉じる

<取り出す時は・・・>

- 電池を起こして取り出してください。

5 ドッキングステーションを準備する [P27]

6 カメラのモニターユニットを閉じて、ドッキングステーションに装着する

- カメラの向きやドッキングステーション端子の位置に注意して、しっかりと装着してください。
- ドッキングステーションに装着した時点で充電を開始します。
- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 電池の異常や装着が不完全な場合は、充電ランプが赤色点滅します。カメラを装着し直してください。
- 充電時間は約90分です。

電源を準備する（つづき）

注意!

ドッキングステーションに装着して操作している時は・・・

- ドッキングステーションに装着した状態で、撮影/再生を行うことができます。再生モードでは充電できますが、撮影モードでは充電できません。

長時間使用した直後に充電しない

- カメラを長時間使用した直後は電池が熱くなっています。この状態で充電しようとすると、充電インジケータが赤色で点滅して充電できない場合があります。長時間使用した後は、電池の温度が下がってから充電してください。

電池が膨らんだ？

- 本製品に使われているリチウムイオン電池は、高温環境での保存や繰り返しの使用によって電池が少し膨らむことがありますが、安全上の問題はありません。

ヒント

内蔵バックアップ用電池について

- このカメラは日付・時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、約2日間ほど電池は装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しない時は電池を取りはずす

- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、カメラを長期間使用しない時は電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池をはずすと、日付・時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

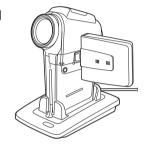
電池を長く快適にお使いいただくために

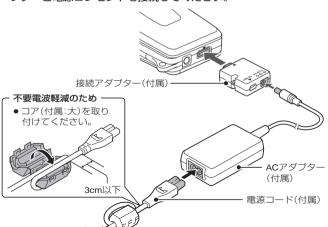
- 電池は消耗品ですが、以下のような事がらに配慮して使うことで、より長い期間ご使用いただくことができます。
  - ・夏場の炎天下など高温環境下に放置しない。
  - ・満充電の状態で繰り返して充電をしない。満充電した後は、ある程度使ってから充電する。
  - ・長期間使用しない場合、できるだけ満充電状態は避け、冷暗所に保管する。

電源コンセントを使う場合は

ドッキングステーションまたは接続アダプターを使うと、電源コンセントから電源を取ることができます。

ドッキングステーションを使う

付属の電源コードでドッキングステーションと電源コンセントを接続し、カメラをドッキングステーションに装着してください。

接続アダプターを使う

カメラに接続アダプターを装着し、付属の電源コードで接続アダプターと電源コンセントを接続してください。

電源を準備する(つづき)

ドッキングステーション/接続アダプターによる充電動作について

充電動作は、カメラのメインスイッチの位置や電源の ON/OFF の状態によって異なります。

ドッキングステーション接続時の充電動作

メインスイッチ	カメラ電源		
	ON*[1]	OFF	パワーセーブ状態*[2]
PLAY ↓	充電する	充電する	充電する
REC ↑	充電しない*[3]	充電する*[4]	充電する

*[1]：撮影/再生操作をしない状態が約1時間以上続くと、パワーセーブ状態[P37]になります。
*[2]：ドッキングステーションの動作モードボタン (⚡) を押すと、カメラの電源が入ります。
*[3]：ドッキングステーションの動作モードボタン (⚡) を押すと、カメラの電源が切れて充電を開始します。
*[4]：ドッキングステーションの動作モードボタン (⚡) を押すと電源が入り、充電を中断します。

接続アダプター接続時の充電動作

メインスイッチ	カメラ電源		
	ON*	OFF	パワーセーブ状態
PLAY ↓	充電する	充電する	充電する
REC ↑	充電しない	充電する	充電する

*：撮影/再生操作をしない状態が約1時間以上続くと、パワーセーブ状態[P37]になります。

電源を入れる／切る

電源の入れかた

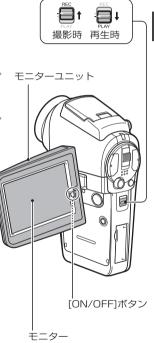
1 メインスイッチを合わせる

撮影する時：
[REC]に合わせる

再生する時：
[PLAY]に合わせる

2 モニターユニットを開ける

3 [ON/OFF] ボタンを約 1 秒以上押す

- 電源が入り、モニターに画像が出ます。

電源を入れる／切る（つづき）

パワーセーブ(スリープ)状態から電源を入れる

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約1分間、再生時:約5分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「パワーセーブ(スリープ)機能」が備わっています。

- パワーセーブ状態になった場合は、以下のいずれかの操作をすると電源が入ります。
  - **メインスイッチを切り替える**
  - **[ON/OFF]ボタンを押す**
  - **ズームスイッチを押す**
  - **[HD/NORM]ボタンを押す**
  - **静止画/動画撮影ボタンを押す**
  - **[SET]/[MENU]ボタンを押す**
  - **フラッシュボタン[ϟ]を押す**
  - **[HIGH SENSITIVITY]ボタンを押す**
- パワーセーブ状態になって約1時間以上経過すると、スタンバイモードになります。スタンバイモードになった場合は、[ON/OFF]ボタンを押して電源を入れるか、モニターユニットを一度閉じて開けてください。
- ACアダプターを接続している場合、電源を入れてから約10分後にパワーセーブ機能が働きます(工場出荷時の設定)。
- パワーセーブ状態になるまでの時間は、変更することができます[P149]。
- カメラにパソコンまたはプリンタを接続している場合は、約12時間後にパワーセーブ状態になります。

電源の切りかた

1 [ON/OFF]ボタンを約1秒以上押す

- 電源が切れます。

すぐにパワーセーブ状態にするには

- [ON/OFF]ボタンを短く押すと、パワーセーブ状態になります。

スタンバイモードについて

- モニターユニットを閉じると、電源をほとんど消費しないスタンバイモードになります。スタンバイモードでは、モニターユニットを開けるとすぐに電源が入って、撮影や再生操作が可能になります。カメラの使用を一時的に中止し、またすぐに使用するような場合は、スタンバイモードをご利用ください。

日付･時刻を設定している場合[P41]

- メインスイッチを[REC]に合わせてカメラの電源を入れると、現在の時刻をモニターに表示します。

⏲?アイコンが出る？

- このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付･時刻の設定[P41]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため電源を入れた直後に「日付時刻を設定してください」というメッセージが、撮影画面には⏲?アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

ボタン操作をマスターする

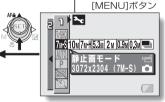
設定の変更や画像の選択は、モニターの表示を見ながら、[SET]ボタンを操作して行います。頻繁に行う操作なので、マスターしておきましょう。

1 電源を入れる

2 [MENU]ボタンを押す

- メニュー画面が出ます。

<上下のアイコンを選ぶ>

上のアイコンを選ぶ：
[SET] ボタンを上側に押す

下のアイコンを選ぶ：
[SET] ボタンを下側に押す

＜左右のアイコンを選ぶ＞

右のアイコンを選ぶ：
[SET]ボタンを右側に押す

左のアイコンを選ぶ：
[SET]ボタンを左側に押す

＜選んだアイコンを確定する＞
[SET]ボタンを押します。選んでいたアイコンが、一番左側に移動します。

日付・時刻を設定する

このカメラは撮影／録音時の日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2007年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 オプション画面を出す[P130]

2 日付時刻アイコン[◴]を選び、[SET]ボタンを押す

- 日付時刻設定画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定するときは、以降の操作をしてください。
- オプション画面に戻るときは、[MENU]ボタンを押します。

3 日付を設定する

❶[日付]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・日付設定画面が出ます。
❸日付を「2007年12月24日」に合わせる
・「年」設定→「月」設定→「日」設定の順に合わせます。
[SET]ボタンを左右に押す：「年」、「月」、「日」が選べます。
[SET]ボタンを上下に押す：数値が増減します。
❹[SET]ボタンを押す

4 時計を設定する

❶[時刻]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・時刻設定画面が出ます。
❸時計を「19時30分」に合わせる
・「時」設定→「分」設定の順に合わせます。
・「時」は24時間表示です。
❹[SET]ボタンを押す

5 再生時の日付表示順序を設定する

❶[表示]を選ぶ
❷[SET]ボタンを押す
・日付表示順序を設定する画面が出ます。
❸[SET]ボタンを上または下側に押す

● 上側に押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

→年/月/日→月/日/年→日/月/年→

下側に押すと、逆に切り替わります。

❹[SET]ボタンを押す

6 [MENU] ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わり、オプション画面に戻ります。
- 撮影または再生画面に戻るには、[MENU]ボタンを押してください。

ヒント

- このカメラは電池を交換するときに内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付・時刻の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時計表示を確認されることをおすすめします(操作1・2)。

日付・時刻を修正するには

- 操作1・2の後、修正したい行を選びます。修正したい表示を選び、表示を修正してください。

撮影の前に

カメラの構えかた

カメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。

良い例

悪い例

指がレンズまたはフラッシュ発光部にかかっている

＜カメラの持ちかた＞

例1:
右手の人差し指をレンズの上にかけ、小指から中指でカメラを包むように握ってください。

例2:
右手の小指から人差し指でカメラを包むように握ってください。

レンズやフラッシュ発光部に、指やストラップがかからないように注意してください。

- 静止画像は、再生時に回転表示することができます[P109]。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

撮影の前に（つづき）

オートフォーカス（自動ピント合わせ）機能について

このカメラのオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。オートフォーカス機能でピントが合わない場合は、フォーカスレンジを設定して撮影してください[P88]。

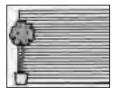
■オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

- **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

  撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

- **縦線のない被写体**

  撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。

次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わない時があります。

● **遠いものと近いものが共存する被写体**

撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください(モニターでピントを確認してください)。

● **動きの速い被写体**

撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

撮影の前に(つづき)

撮影のヒント

操作音を消したい

●静止画撮影ボタンや[MENU]ボタン、[SET]ボタンなどを押した時に鳴る音や、モードを切り替えた時に出る音声ガイダンスを消すことができます[P135]。

撮影した画像や録音した音声の保存先は？

●すべて、カメラに装着したカードに保存します。

逆光で撮影すると…

●逆光で撮影した時は、レンズの特性上、光の筋(スミア)やゴースト模様(フレア現象)が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

撮影データの記録中は…

●マルチインジケータが赤色で点滅している間は画像の記録中で、次の撮影はできません。赤色点滅が消えれば撮影できます。ただし、赤色で点滅している間でも、カメラ内部メモリーの空き容量の状態により、撮影後約2秒で次の撮影ができる場合があります。

直前に撮影した画像の確認(レックレビュー)ができます

●撮影後、[SET]ボタンを押すと、撮影した画像を再生し確認することができます。
●動画クリップのレックレビューでは、通常再生、逆方向再生、一時停止などが行えます[P50]。
●撮影に失敗した場合は、(動画クリップの場合は一時停止または停止中に)[SET]ボタンを上側に押すと、画像を消去することができます。
●レックレビュー画面を表示している時に[SET]ボタンを左または右側に押すと、他の画像を再生することができます。
●レックレビュー画面は、[SET]ボタンを下側に押すと消えます。

動画クリップ撮影・再生をする

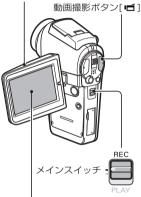
動画クリップ撮影をする

1 電源を入れる

モニターユニットを閉じている場合→モニターユニットを開ける
パワーセーブ状態の場合→[ON/OFF]ボタンを押す

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 動画撮影ボタン[ ]を押す

- 録画が始まります。
- 動画撮影ボタンを押し続ける必要はありません。
- 撮影可能時間が少なくなると、残りの撮影可能時間が出ます。

4 撮影を終了する

- もう一度動画撮影ボタンを押すと、録画を終了します。

動画クリップ再生をする

5 メインスイッチを[PLAY]に合わせる

- 先ほど撮影した動画クリップが、モニターに出ます。

6 [SET] ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。

<例：動画クリップ撮影後
：ノーマルモード>

<例：動画クリップ撮影後
：HDモード>

こうするには		こうします
順方向再生		[SET]ボタンを押す
再生中止		再生中に[SET]ボタンを下に押す
一時停止		再生中に[SET]ボタンを押す、または[SET]ボタンを上に押す 倍速再生中は[SET]ボタンを上に押す
コマ送り再生	順方向	一時停止中に、[SET]ボタンを右に押す
	逆方向	一時停止中に、[SET]ボタンを左に押す
スロー再生	順方向	一時停止中に、[SET]ボタンを右に押し続ける
	逆方向	一時停止中に、[SET]ボタンを左に押し続ける
倍速再生	順方向	順方向再生中に[SET]ボタンを右に押す ※[SET]ボタンを右に押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 [SET]ボタンを左に押すと、再生速度が元に戻ります。
	逆方向	順方向再生中に[SET]ボタンを左に押す ※[SET]ボタンを左に押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 [SET]ボタンを右に押すと、再生速度が元に戻ります。
通常再生に戻す		[SET]ボタンを押す
音量調整		**大きくする**:再生中にズームスイッチを[T]側に押す **小さくする**:再生中にズームスイッチを[W]側に押す

操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

動画クリップ撮影・再生をする(つづき)

ヒント

モニターの明るさを変えることができます

- 撮影画面が出ている時に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、モニターの明るさを設定する画面が出ます。

フォーカスロックできます

- [SET]ボタンを上側に押すと、オートフォーカスを固定することができます。オートフォーカスを固定すると、モニターにAFアイコンが出ます。
- フォーカスレンジの設定[P88]を変更すると、フォーカスロックを解除します。

動画クリップは、データ量が多くなります

- 撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラのモニターやテレビでは、正常に再生できます)。
- 撮影可能時間以内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。

動画クリップの再生位置を表示できます

- 動画クリップ再生中に[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、現在の再生位置を示すバーが出ます。
- 再生位置を示すバーは、再度[MENU]ボタンを約1秒以上押すと消えます。

注意!

動画クリップ再生時に動作音がする?

- 撮影時に光学ズームの動作音やオートフォーカスの動作音を録音したもので、故障ではありません。

音声が出ない?

- コマ送り、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

静止画撮影・再生をする

1枚撮影をする

1 [ON/OFF] ボタンを押して、電源を入れる

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 静止画撮影ボタン[📷]を押す

❶**静止画撮影ボタンを半分押す**
- オートフォーカスが働き、ピントが合います(フォーカスロック)。

❷**さらに静止画撮影ボタンを押す**
- シャッターが切れます。
- このまま、静止画撮影ボタンを押したままにしていると、撮影した画像をモニターで確認することができます(ポストビュー[P137])。

基本操作 静止画撮影・再生をする

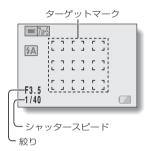
どこにピントが合ってるの？

- ピントが合った位置には、ターゲットマーク⛶が出ます。
- ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は､大きなターゲットマークが出ます。

シャッタースピードと絞り値が出ます

- ピントが合ってターゲットマークが出ると、同時にシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。

手ぶれ警告アイコンが出たら？

- 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P68]に設定してください。
- シーンセレクト機能の花火モード撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

静止画再生をする

1 メインスイッチを[PLAY] に合わせる

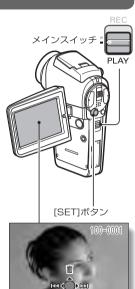
- モニターに画像が出ます。

2 再生する画像を選択する

1つ前の画像を表示する：
[SET]ボタンを左側に押す

1つ後の画像を表示する：
[SET]ボタンを右側に押す

- 目的の画像を表示してください。

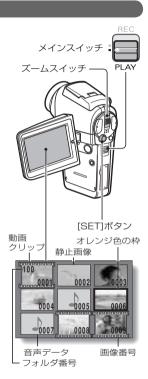
静止画撮影・再生をする(つづき)

9画面マルチ再生

1 メインスイッチを[PLAY]に合わせる

2 ズームスイッチを [W]([ ])側に押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 再生する

- [SET]ボタンを上下左右に押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[SET]ボタンを押してください。
  [SET]ボタンの代わりに、ズームスイッチを[T]([ ])側に押しても、再生できます。
- 9画面マルチ再生表示の状態でズームスイッチを[W]([ ])側に押すと、アートモード再生[P56]になります。

- 再生設定画面で アイコンを選んでも、9画面マルチ再生が行えます。

アートモード再生

通常表示で表示中または、9 画面マルチ表示で選んでいる画像以降の画像を 22 個単位で表示します。

※画像の数が足りない部分は、色つきの長方形表示になります。

1 **一番大きく表示する画像を通常表示する [P49・54]、または 9 画面マルチ表示でオレンジ色の枠を合わせる [P55]**

2 通常表示からの場合はズームスイッチの [W]（▦）を 2 回、9 画面マルチ表示からの場合は 1 回押す

- アートモード再生になります。

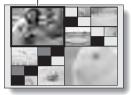
<アートモード再生画面での操作>

[SET]ボタンを上または下側に押す：画像を選ぶ

[SET]ボタンを押す：選んだ画像をモニターいっぱいに表示する

[MENU]ボタンを押す：選んだ画像をモニターいっぱいに表示し、再生設定画面[P99]を出す

[SET]ボタンを右または左側に押す：前後の画像をランダムに表示する

ズームスイッチを[T]（[🔍]）側に押す：9画面マルチ表示になる

拡大(ズーム)表示をする

1 画像を表示する

- 動画クリップの場合は、拡大表示する位置で、一時停止してください。

2 ズームスイッチを [T]([🔍])側に押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- [SET]ボタンを上下左右に押すと、表示部分が移動できます。

拡大する:ズームスイッチを[T]([🔍])側に押すごとに倍率が上がります。

元に戻す:ズームスイッチを[W]([▦])側に押すごとに倍率が下がります。

- [SET]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。

拡大した画像が保存できます

- 拡大表示している時に静止画撮影ボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

動画クリップ撮影中に静止画撮影をする

動画クリップ撮影中に、静止画撮影(1枚撮影)ができます。

1 [ON/OFF] ボタンを約1秒以上押して、電源を入れる

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 動画撮影ボタン[ ]を押す

4 静止画撮影のチャンスになったら、静止画撮影ボタン[ ]を押す

5 撮影を終了する

- 動画撮影ボタンを押すと、撮影が終了します。

- 動画クリップ撮影中の静止画撮影の場合、フラッシュは発光しません。
- 静止画撮影をすると撮影画像が一瞬止まり、静止画撮影が終わったら動画クリップ撮影に戻ります。
- 静止画モードを[10M]に設定している場合は、自動的に[7M-S]に変更して撮影します。
- 撮影可能時間が約50秒以下になると、動画クリップ撮影中の静止画撮影ができなくなります。静止画撮影ができなくなる撮影可能時間は、被写体や動画モードの設定[P79]によって異なります。動画クリップ撮影中に静止画撮影をする場合は、撮影可能時間にご注意ください。

HDモードで撮影する

このカメラは、通常の動画クリップ撮影(縦横比４：３、ノーマルモード)に加え、縦横比 16:9 のワイド画面(HD モード)で動画クリップを撮影することができます。

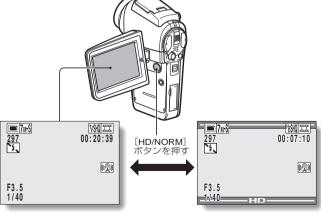
ノーマル/HDモードの切り替えかた

1 [ON/OFF] ボタンを約 1 秒以上押して、電源を入れる

2 メインスイッチを[REC] に合わせる

3 [HD/NORM] ボタンを押す

- モニターの表示が、16：9のHDモードになります。
- [HD/NORM]ボタンを押すたびに、HDモードとノーマルモードが切り替わります。

<ノーマルモード撮影画面>　　<HDモード撮影画面>

4 動画撮影ボタン[ ]を押す

音声を録音・再生する

音声のみを録音・再生することができます。

録音する

1 メインスイッチを[REC]に合わせる

2 [MENU]ボタンを押す

- メニュー画面が出ます。

3 動画モードメニューから音声メモアイコン[🎙]を選び、[SET]ボタンを押す

- 録音可能状態になります。
- メニュー画面は[MENU]ボタンを押すと消えます。

4 動画撮影ボタンを押す

- 録音を開始します。録音中は、モニターに 🎙 表示が出ます。動画撮影ボタンを押し続ける必要はありません。
- 最大連続録音時間は、約13時間です。

5 録音を終了する

- もう一度動画撮影ボタンを押すと、録音が終了します。

録音中に静止画撮影ができます

- 録音中に静止画撮影ボタンを押すと、静止画を撮影することができます。ただし、静止画モードを 10M に設定している場合は、自動的に 7M-S に変更して撮影します。

音声を録音・再生する（つづき）

再生する

1 音声データを表示する

2 再生する

順方向再生を開始する：[SET]ボタンを押す
一時停止する：再生中に[SET]ボタンを押す、または[SET]ボタンを上側に押す
早送り/早戻し中は[SET]ボタンを上側に押す
再生を中止する：再生中に[SET]ボタンを下側に押す
早送り/早戻しする：
- 早送り/早戻しには2倍速（順方向再生のみ）、5倍速、10倍速、15倍速再生があります。
- 再生中に[SET]ボタンを右または左側に押すと、早送り/早戻しをします。
- [SET]ボタンを右または左側に押すと、倍速速度が変わります。

早送り（[SET]ボタンを右側に押す）
2倍速→5倍速→10倍速→15倍速
※速度を元に戻すには、[SET]ボタンを左側に押します。

早戻し（[SET]ボタンを左側に押す）
15倍速←10倍速←5倍速
※速度を元に戻すには、[SET]ボタンを右側に押します。

音量調整
大きくする：再生中にズームスイッチを[T]側に押す
小さくする：再生中にズームスイッチを[W]側に押す

注意！

音声が出ない？
- 早送りおよび早戻し時、音声は再生しません。

リモコンで撮影・再生をする

このカメラは本体にリモコン受光部を装備しているので、付属のリモコンを使って撮影や再生をすることができます。

1 リモコンの準備をする [P28]

2 カメラの電源を入れ、メインスイッチを[REC]または[PLAY] に合わせる

- 撮影する時は[REC]、再生する時は[PLAY]に合わせてください。

3 リモコンをカメラのリモコン受光部に向ける

- モニターユニットを開けてください。

4 リモコンのボタンを押して操作する

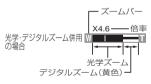
ズーム撮影をする

ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。
デジタルズームは、使うか使わないかを設定することができます [P142]。

1 被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチを[T]または[W]側に押して、構図を決める

[T]：望遠画面になります。
[W]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームは、ズームスイッチを軽く押すとゆっくりと、強く押すと速く動作をします。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチを[T]側に押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

動画クリップ撮影→[P48]
1枚撮影→[P52]
連写撮影→[P96]

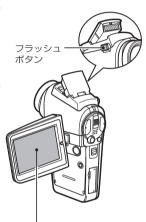
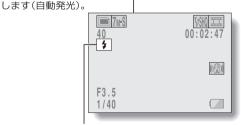
フラッシュを使って撮影する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。
フラッシュには、4 つの動作(赤目軽減 / 自動発光 / 強制発光 / 発光禁止)があります。状況に応じて使い分けてください。
フラッシュを使って撮影できるのは 1 枚撮影のみです。

1 メインスイッチを[REC]に合わせる

2 フラッシュボタンを押して、フラッシュを出す

- 現在のフラッシュの設定状態がモニターに出ます。

表示なし： 被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します(自動発光)。

フラッシュの設定

フラッシュを使って撮影する(つづき)

[⚡]：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影する時に使います(強制発光)。

[⚡]：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影する時などに使います(発光禁止)。

[⚡◎]：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが予備発光した後に正式発光します。この時、人物の目が赤く写る現象(赤目現象)を軽減します。

3 フラッシュボタンを押して、フラッシュ動作を設定する

- フラッシュボタンを押すごとに、フラッシュ動作の設定が変わります。
- 希望するフラッシュ動作のアイコンを出してください。

4 静止画撮影ボタンを押して撮影する

- 設定したフラッシュ動作で撮影します

- 動画クリップ撮影中と連写撮影モード時に、フラッシュは使えません。

露出を補正する

明るさを変えて撮影することができます。

1 メインスイッチを[REC]に合わせる

- 撮影設定画面が出ている場合は、[MENU]ボタンを押して消してください。

2 撮影画面が出ている時に、[SET]ボタンを右側に押す

- 露出補正バーが出ます。

3 [SET]ボタンを右または左側に押し、露出を補正する

- 露出補正値は、露出補正バーの左側に出ます。
- 露出は－1.8EV～+1.8EVの範囲で補正することができます。
- 露出補正バーは、[MENU]ボタンまたは[SET]ボタンを押すと消えます。

以下の操作をすると、露出補正の設定を解除します

- ポインタを中央にする
- オプション画面を出す
- メインスイッチを[PLAY]にする
- 電源を切る

高感度モードで撮影する

[HIGH SENSITIVITY] ボタンを押すと、さらに明るく撮影することができます。また、ISO 感度 [P92] を高く設定しても、明るく撮影することができます。

1 [HIGH SENSITIVITY] ボタンを押す

- モニターに HS マークが出て、高感度モードになります。

静止画撮影時：ISO感度を ISO-A より上げて撮影します。

動画クリップ撮影時：ISO感度を ISO-A より上げて、シャッタースピードを自動調整し、感度を上げて撮影します。

- 通常の感度に戻すには、もう一度[HIGH SENSITIVITY]ボタンを押してください。

注意!

高感度モードでの制限
- 高感度モードでは、マニュアル露出やフリッカー軽減機能を設定することはできません。

撮影した動画クリップの動きが粗い？
- シャッタースピードを落として明るく撮影するため、再生すると動画クリップの動きが粗くなる場合があります。

撮影設定画面を出す

撮影の設定は、撮影設定画面で行います。撮影設定画面には**ページ 1** と**ページ 2** があり、**ページ 1**[P75] では基本的な撮影設定が、**ページ 2**[P77] ではさらに詳細な設定が可能です。

1 電源を入れる [P36]

2 メインスイッチを[REC]に合わせる

3 [MENU] ボタンを押す

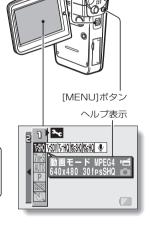
- 撮影設定画面が出ます。
- 撮影設定画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

ヘルプ表示について

撮影設定画面のアイコンを選ぶと、選んだアイコンの機能と使用可能な撮影モード(ヘルプ表示)が出ます。

<動画クリップ撮影モードで使える場合>

<静止画撮影モードで使える場合>

<両方の撮影モードで使える場合>

ページの切り替えかた

撮影設定画面の**ページ 1** と**ページ 2** を切り替えます。

1 撮影設定画面を出す

2 [SET] ボタンを左側に押す

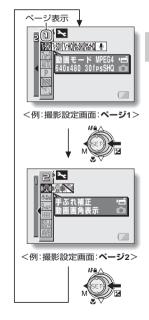
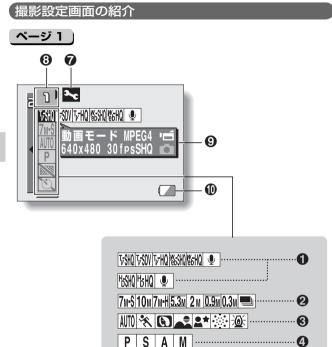
- 撮影設定画面のページが切り替わります。
- [SET]ボタンを左側に押すたびに、ページが切り替わります。

<例：撮影設定画面：**ページ1**>

<例：撮影設定画面：**ページ2**>

撮影設定画面を出す（つづき）

撮影設定画面の紹介

ページ 1

❶動画モードメニュー[P79]

<ノーマルモード時>

- TVSHQ：640×480ピクセル 30fps高画質で撮影します。
- TVSDV：720×480ピクセル 30fpsで撮影します。
- TVHQ：640×480ピクセル 30fps標準画質で撮影します。
- WEBSHQ：320×240ピクセル 30fpsで撮影します。
- WEBHQ：320×240ピクセル 15fpsで撮影します。
- 🎤：音声を録音します。

<HDモード時>

- HDSHQ：1,280×720ピクセル、30フレーム/秒、超高画質で撮影します。
- HDHQ：1,280×720ピクセル、30フレーム/秒、高画質で撮影します。
- 🎤：音声を録音します。

❷静止画モードメニュー[P81]

- 7M-S：3,072×2,304ピクセル(約700万画素：標準圧縮)で撮影します。
- 10M：3,680×2,760ピクセル(約1,000万画素)で撮影します。
- 7M-H：3,072×2,304ピクセル(約700万画素：低圧縮)で撮影します。
- 5.3M：3,072×1,728ピクセル(約530万画素)で撮影します。
- 2M：1,600×1,200ピクセル(約200万画素)で撮影します。
- 0.9M：1,280×720ピクセル(約90万画素)で撮影します。
- 0.3M：640×480ピクセル(約30万画素)で撮影します。
- 連写：640×480ピクセル(約30万画素)で連写撮影します。

❸シーンセレクトメニュー[P82]

- AUTO：フルオートで撮影します。
- スポーツ：スポーツモードで撮影します。
- ポートレート：ポートレートモードで撮影します。
- 風景：風景モードで撮影します。
- 夜景ポートレート：夜景ポートレートモードで撮影します。
- 花火：花火モードで撮影します。
- ランプ：ランプモードで撮影します。

❹マニュアル露出設定メニュー[P83]

- P：自動的に露出を設定します。
- S：シャッタースピードとNDフィルターを設定します。
- A：絞りとNDフィルターを設定します。
- M：絞りとシャッタースピードとNDフィルターを設定します。

❺フィルターメニュー[P85]

- フィルターなし：フィルターを使わずに撮影します。
- コスメ：コスメフィルターで撮影します。
- モノクロ：モノクロフィルターで撮影します。
- セピア：セピアフィルターで撮影します。

❻セルフタイマーメニュー[P95]

- セルフタイマーオフ：セルフタイマーを使いません。
- 2秒：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、2秒後に撮影します。
- 10秒：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、10秒後に撮影します。

❼オプションアイコン[P130]

●オプション画面を表示します。

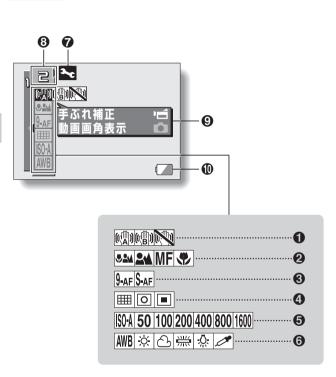
❽ページ表示[P74]

❾ヘルプ表示[P73]

❿電池残量表示[P158]

※同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

ページ 2

❽
❼
2
1
手ぶれ補正
動画画角表示
❾
❿
9-AF
ISO-A
AWB
❶
MF
❷
9-AF S-AF
❸
❹
ISO-A 50 100 200 400 800 1600
❺
AWB
❻

❶手ぶれ補正メニュー[P86]

- ：動画画角表示で撮影します。
- ：静止画画角表示で撮影します。
- ：手ぶれを補正しません。

❷フォーカスメニュー[P88]

- ：全域モードで撮影します。
- ：ノーマルモードで撮影します。
- MF：マニュアルモードで撮影します。
- ：スーパーマクロモードで撮影します。

❸フォーカス方式メニュー[P90]

- 9-AF：9 点測距フォーカスに設定します。
- S-AF：スポットフォーカスに設定します。

❹測光方式メニュー[P91]

- ：多分割測光になります。
- ：中央重点測光になります。
- ：スポット測光になります。

❺ISO感度メニュー[P92]

- ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO50～400)。
- 50：感度をISO50に設定します。
- 100：感度をISO100に設定します。
- 200：感度をISO200に設定します。
- 400：感度をISO400に設定します。
- 800：感度をISO800に設定します。
- 1600：感度をISO1,600に設定します。

※ISOの表示値は標準出力感度です。

❻ホワイトバランスメニュー[P93]

- AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。
- ：晴天時の設定です。
- ：曇天時の設定です。
- ：蛍光灯による照明時の設定です。
- ：白熱灯による照明時の設定です。
- ：より正確にホワイトバランスを設定します。

❼オプションアイコン[P130]

- オプション画面を表示します。

❽ページ表示[P74]

❾ヘルプ表示[P73]

❿電池残量表示[P158]

※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

動画モード(画質)を設定する

動画クリップのピクセル数とフレームレートは、数値が大きいほどきめ細かく滑らかな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 撮影設定画面(ページ 1)を出す [P74]

2 動画モードメニューを選ぶ

	設定	解像度(単位:ピクセル)	フレームレート	画質
HDモード	HD SHQ	1,280×720	30fps	超高画質
	HD HQ			高画質
ノーマルモード	TV SDV	720×480	30fps	高画質
	TV SHQ	640×480	30fps	
	TV HQ	640×480	30fps	標準画質
	WEB SHQ	320×240	30fps	
	WEB HQ	320×240	15fps	
HDモード/ノーマルモード	（マイク）	ー	ー	ー

3 動画モードメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

● 動画モードを設定しました。

テレビで再生する動画クリップを撮影する場合

- TvSDVに設定してください。ただし、TvSDVで撮影した動画クリップは、パソコンで再生すると、画像が横方向に伸びる場合があります。

注意!

動画クリップを編集する場合

- 動画クリップをつなぎ合わせる場合は､同じ動画モードで撮影してください。
- 異なる動画モードで撮影した動画クリップは、つなぎ合わせることができません。

他のカメラで撮影した動画クリップを再生する場合

- DMX-HD1AやDMX-HD1のTvHR（解像度640×480ピクセル、フレームレート60fps）で撮影した動画クリップは、解像度640×480ピクセル、フレームレート30fpsで再生します。

静止画モード(画質)を設定する

静止画像の解像度(ピクセル数)は、数値が大きいほどきめ細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 撮影設定画面(ページ 1)を出す [P74]

2 静止画モードメニューを選ぶ

- 5.3M 0.9M に設定して撮影すると、縦横比が16：9の写真になります。
- [連写] に設定すると、連写撮影モード[P96]になります。

設定	解像度(単位:ピクセル)	圧縮率
10M	3,680×2,760	標準圧縮
7M-H	3,072×2,304	低圧縮
7M-S		標準圧縮
5.3M	3,072×1,728	
2M	1,600×1,200	
0.9M	1,280×720	
0.3M	640×480	
[連写]		

3 静止画モードメニューから目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- 静止画モードを設定しました。

シーンセレクト機能を設定する

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 撮影設定画面(ページ 1)を出す [P74]

2 シーンセレクトメニューを選ぶ

AUTO：カメラが最適な状態に設定します(フルオート)。
[スポーツ]：動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます(スポーツモード)。
[ポートレート]：背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます(ポートレートモード)。
[風景]：遠くの風景がきれいに撮影できます(風景モード)。
[夜景ポートレート]：バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます(夜景ポートレートモード：1枚撮影、動画クリップ撮影時のみ)。
[花火]：打ち上げ花火を撮影します(花火モード：1枚撮影、動画クリップ撮影時のみ)。
[ランプ]：小さな光だけで撮影します(ランプモード：1枚撮影、動画クリップ撮影時のみ)。

3 シーンセレクトメニューから目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- シーンセレクトを設定しました。
- 通常の撮影に戻す場合は、シーンセレクトメニューのAUTOを選び、[SET]ボタンを押してください。

ヒント

- ランプモード[ランプ]、花火モード[花火]や夜景ポートレートモード[夜景ポートレート]で撮影する場合は、手ぶれを防ぐために三脚などでカメラを固定してください。
- AUTO以外のシーンセレクト機能を設定した場合の制限事項については、221ページを参照してください。

露出を設定する

このカメラは、シャッタースピードや絞り、ND フィルターの ON/OFF をそれぞれ設定することができます。

1 撮影設定画面(ページ 1)を出す [P74]

2 マニュアル露出メニューを選ぶ

P：被写体の明るさに応じて、最適なシャッタースピードと絞りで撮影できます(絞り・シャッター可変プログラムAE)。
使用例：設定をカメラに任せて、手軽に撮影する。

S：シャッタースピードとNDフィルターを設定できます。シャッタースピードを設定すると、最適な絞りに自動調整して撮影できます(シャッタースピード優先AE)。
使用例：速いシャッタースピードに設定し、速い動きの一瞬を撮影する。
遅いシャッタースピードに設定し、流し撮りで背景が流れるようなシーンを撮影する。フラッシュと、遅いシャッタースピード(スローシャッター)を併用し、前景の人物も背景の夜景もきれいに撮影する(スローシンクロ撮影)。

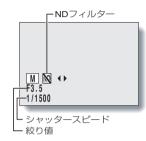
A：絞りとNDフィルターを設定することができます。絞りを設定すると、最適なシャッタースピードに自動調整して撮影できます(絞り優先AE)。
使用例：絞りを開放に設定し、背景をぼかした立体感のあるポートレート撮影をする(被写界深度を浅くする)。
絞り込んだ設定にし、人物もバックもくっきり写す(被写界深度を深くする)。

M：シャッタースピード、絞りとNDフィルターを任意に設定して、撮影できます(マニュアル露出制御)。
使用例：フラッシュを使わず、暗い場所での撮影をするとき、長時間シャッターを開ける「スローシャッター」を設定する。
夜景撮影で使用すると、光が流れるような写真にすることができる。

3 マニュアル露出メニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

<[S][A]または[M]を選んだ場合>

❶[SET]ボタンを上または下側に押して、NDフィルター、絞り値またはシャッタースピードを選んでください。

❷[SET]ボタンを左右に押すと設定を変更することができます。

4 [SET] ボタンを押す

● 露出を設定しました。

ヒント

● 遅いシャッタースピードで撮影する時は、手ぶれを防ぐため、三脚などでカメラを固定してください。
● 遅いシャッタースピードにすると、より暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にはノイズが増える場合があります。
● ノイズを軽減するには、ノイズ軽減の設定をしてください[P139]。
● シーンセレクト機能を設定すると、マニュアル露出設定は自動的に[P]になります。
● 連写撮影モードでのシャッタースピードは、1/15より速くなります。
● シャッタースピードを1/29より遅く設定しても、動画クリップ撮影モードでのシャッタースピードは1/30になります。

フィルターを設定する

フィルターは、色調などを変えて、撮影画像に特殊な効果を与える機能です。

1 撮影設定画面(ページ 1)を出す [P74]

[P74]

2 フィルターメニューを選ぶ

- ：フィルターを使わずに撮影します。
- ：人物を撮影する時に、お肌をきれいに撮影できます(コスメフィルター)。
- ：モノクロ撮影ができます(モノクロフィルター)。
- ：色調をセピアカラーにした撮影ができます(セピアフィルター)。

3 フィルターメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- フィルターを設定しました。
- 通常の撮影に戻す場合は、フィルターメニューのを選び、[SET]ボタンを押してください。

ヒント

- 以外のフィルターを設定した場合の制限事項については、222ページを参照してください。

手ぶれ補正を設定する

撮影時の手ぶれを補正し、手ぶれの少ない撮影を可能にします（動画クリップ撮影時のみ）。

1 撮影設定画面（ページ 2）を出す [P74]

2 手ぶれ補正メニューを選ぶ

[A]：動画クリップ撮影時の手ぶれを補正します。動画クリップ撮影ボタンを押した際に画角が変わらないため、動画クリップを中心に撮影する際に便利です（動画画角表示）。

[B]：動画クリップ撮影時の手ぶれを補正します。静止画撮影ボタンを押した際に画角が変わらないため、静止画を中心に撮影する際に便利です（静止画画角表示）。

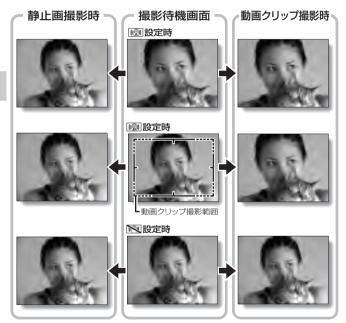
[OFF]：手ぶれを補正しません（OFF）。

3 手ぶれ補正メニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- 手ぶれ補正を設定しました。

手ぶれ補正が効かない？

- 機構上の特性により、激しい手ぶれは補正できない場合があります。
- デジタルズーム[P142]使用時は、倍率が大きいため被写体によっては手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
- カメラを三脚やドッキングステーションなどで固定して撮影する場合は、手ぶれ補正をしない設定[OFF]にしてください。手ぶれ補正を設定して撮影すると、不自然な画像になる場合があります。

<手ぶれ補正設定時の画角変化について>
- 手ぶれ補正をONに設定すると、撮影待機画面と撮影画面の画角が以下のように変わります。
- 手ぶれ[B]設定時、撮影待機画面には動画クリップ撮影範囲を示すフレームが出ます。

- 手ぶれ補正をOFFに設定していても、HDモードでは画角が変わります。
- 静止画モードを0.9M 0.3Mに設定し、シーンセレクト機能をAUTO・[スポーツ]・[ポートレート]・[風景][P82]にしている場合、動画クリップ撮影中に撮影した静止画像は、動画クリップの画像と同じ画角になります。

フォーカスレンジを設定する

1 撮影設定画面(ページ 2)を出す [P74]

2 フォーカスメニューを選ぶ

● 中・遠景を撮影する場合、[ノーマル]に設定するとフォーカスが合いやすくなり、フォーカスが合うまでの時間も短くなります。

[全域]：Wide端：10cm〜∞m
Tele端：1m〜∞m(全域モード)

[ノーマル]：80cm〜∞m(ノーマルモード)

[MF]：焦点距離を1cmから40mの間で設定でき、∞に設定することもできます(マニュアルフォーカス)。

[スーパーマクロ]：1cm〜1m(スーパーマクロモード：Wide端のみ)

● [ノーマル] [スーパーマクロ] または [MF] に設定すると、モニターに [ノーマル] [スーパーマクロ] または[MF]アイコンが出ます。

3 フォーカスメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

● フォーカスレンジを設定しました。

ヒント

● 撮影画面が出ている時に[SET]ボタンを下側に押すと、フォーカスレンジの設定を変更することができます。
● スーパーマクロ[スーパーマクロ]に設定すると、いったんズームをWide端にします。
● [SET]ボタンを上側に押すと、フォーカスをロックすることができます。

フォーカスレンジを設定する(つづき)

マニュアルフォーカスの使いかた

1 フォーカスメニューのマニュアルフォーカスアイコン MF を選び、[SET] ボタンを押す

2 [SET] ボタンを押す

- 焦点距離を設定するバーが出ます。

3 [SET] ボタンを右または左側に押して焦点距離を設定し、[SET] ボタンを押す

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズ面からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を70cm以下に設定すると、ズーム位置は焦点距離に適合した最大の位置になります。
- 焦点距離を70cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

フォーカスエリアを設定する

静止画撮影時のオートフォーカス(ピント合わせ)の方式は、以下の 2 種類から選べます。
9 点測距フォーカス：モニターから見える撮影範囲の 9 箇所のフォーカスポイントでピントを合わせます。ピントが合ったところには、ターゲットマーク ⌜⌟ が出ます。
スポットフォーカス：モニターの中央部分の被写体にフォーカスを合わせます。

1 撮影設定画面(ページ 2)を出す [P74]

2 フォーカス方式メニューを選ぶ

9-AF：9点測距フォーカスになります。

S-AF：スポットフォーカスになります。

7M-S　T/SHQ
40　00:02:47
+
F3.5
1/40

フォーカスマーク

3 フォーカス方式メニューから目的のアイコンを選び、[SET]ボタンを押す

- フォーカスエリアを設定しました。
- スポットフォーカスに設定した場合は、モニター中央にフォーカスマーク+が出ます。

測光方式を設定する

カメラの測光方式は、以下の 3 種類から選べます。
多分割測光　：撮影画面全体の光量を分割して調光します。
中央重点測光：撮影画面の中央付近の光量に重点をおいて、撮影画像全体を調光します。
スポット測光：モニターの中央部分の光量だけを重点的に調光してから構図を決め、撮影することができます。

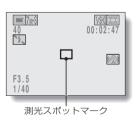
1 撮影設定画面(ページ 2)を出す [P74]

2 測光方式メニューを選ぶ

[▦]：多分割測光になります。
[◎]：中央重点測光になります。
[▣]：スポット測光になります。

3 測光方式メニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- 測光方式を設定しました。
- スポット測光に設定した場合は、モニター中央に測光スポットマーク[ ]が出ます。

測光スポットマーク

ＩＳＯ感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を固定することができます。

1 撮影設定画面（ページ 2）を出す [P74]

2 ISO感度メニューを選ぶ

ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO50～400（動画撮影時：ISO200～1,600相当))。

50：感度をISO50(動画撮影時：ISO200相当)に設定します。

100：感度をISO100(動画撮影時：ISO400相当)に設定します。

200：感度をISO200(動画撮影時：ISO800相当)に設定します。

400：感度をISO400（動画撮影時：ISO1,600相当）に設定します。

800：感度をISO800（動画撮影時：ISO3,200相当）に設定します。

1600：感度をISO1,600（動画撮影時：ISO3,200相当）に設定します。

※静止画撮影時のISOの表示値は標準出力感度です。

3 ISO感度メニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- ISO感度を設定しました。

ヒント

- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にノイズが増えたり、画像が乱れたりする場合があります。

ホワイトバランスを設定する

このカメラは、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 撮影設定画面(ページ 2)を出す [P74]

2 ホワイトバランスメニューを選ぶ

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。

[晴天]：晴天時の設定です。

[曇天]：曇天時の設定です。

[蛍光灯]：蛍光灯による照明時の設定です。

[白熱灯]：白熱灯による照明時の設定です。

[ワンプッシュ]：現在の光源で、より正確にホワイトバランスをとる時の設定です(ワンプッシュ)。光源が特定できない場合などに使用してください。

[設定のしかた]

❶ [ワンプッシュ]アイコンを選び、[SET]ボタンを押す

・[ワンプッシュ]アイコンが左に移動します。

❷白色の紙を画面いっぱいに表示して、[SET]ボタンを押す

・ホワイトバランスが設定できました。

・操作 3 を行う必要はありません。

3 ホワイトバランスメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスを設定しました。
- [手動]アイコンで設定したホワイトバランスは、他の設定（AWB、[晴天]、[曇天]、[蛍光灯]、[電球]）にしても、記憶しています。他の設定に変更した場合は、[手動]アイコンを選んで[SET]ボタンを押すと、設定した[手動]アイコンのホワイトバランスに戻すことができます。

ホワイトバランスの設定を解除するには

- 操作 1 を行い、AWBアイコンを選んで[SET]ボタンを押します。

セルフタイマーを設定する

1 撮影設定画面（ページ 1）を出す [P74]

2 セルフタイマーメニューを選ぶ

[セルフタイマーオフ]：セルフタイマーを使いません。

[2秒]：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、2秒後に撮影します。

[10秒]：静止画撮影または動画撮影ボタンを押した後、10秒後に撮影します。

3 セルフタイマーメニューから目的のアイコンを選び、[SET] ボタンを押す

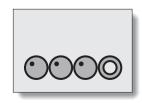
- セルフタイマーを設定しました。

ヒント

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、撮影が始まる前に、もう一度静止画撮影または動画撮影ボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、静止画/動画撮影ボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーメニューの[セルフタイマーオフ]アイコンを選び、[SET]ボタンを押してください。

[10秒]アイコンを選んだ場合は

- 静止画撮影または動画撮影ボタンを押すとマルチインジケータと充電ランプが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。また撮影を開始する4秒前になるとモニターに右の表示が出て、撮影のタイミングをお知らせします。
- モニターユニットを被写体側から見えるようにすると、撮影のタイミングがわかります。

連写撮影をする

1 撮影設定画面(ページ 1)を出す [P74]

2 静止画モードメニューから [連写] を選ぶ

● 連写撮影モードになります。

3 静止画撮影ボタン [ ] を押す

● 撮影を開始します。静止画撮影ボタンを押している間、撮影をします。

最大連写可能枚数は?

● 10枚です。

連写撮影時のピント合わせについて

● 連写撮影では、オートフォーカス機能は静止画撮影ボタンを半分押した時に働き、ピントを固定します。

フラッシュ撮影はできる?

● 連写撮影時にフラッシュは使えません。

再生設定画面を出す

再生の設定は、再生設定画面で行います 。再生設定画面には**ページ 1** と**ページ 2** があり、**ページ 1**[P99]では基本的な再生設定が、**ページ 2**[P100]ではさらに詳細な設定が可能です 。

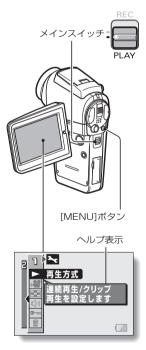
1 電源を入れる[P36]

2 メインスイッチを[PLAY]に合わせる

3 [MENU]ボタンを押す

- 再生設定画面が出ます。
- 再生設定画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

ヘルプ表示について

再生設定画面のアイコンを選ぶと、選んだアイコンの機能(ヘルプ表示)が出ます。

ページの切り替えかた

再生設定画面の**ページ 1** と**ページ 2** を切り替えます。

1 再生設定画面を出す

2 [SET] ボタンを左側に押す

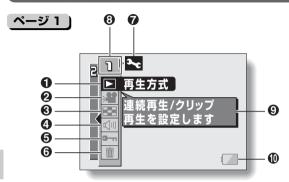
- 再生設定画面のページが切り替わります。
- [SET]ボタンを左側に押すたびに、ページが切り替わります。

<例:再生設定画面:**ページ1**>

<例:再生設定画面:**ページ2**>

再生設定画面を出す（つづき）

再生設定画面の紹介

ページ 1

❶再生方式アイコン[P101]
- 連続再生するか、1データごとに再生するかを設定します。

❷スライドショーアイコン[P103]
- スライドショーの設定と再生を行います。

❸マルチ再生アイコン[P55]
- データを9画面マルチ表示します。

❹再生音量アイコン[P104]
- 動画クリップや音声データの再生音量を設定します。

❺プロテクトアイコン[P105]
- データにプロテクト（消去禁止）を設定します。

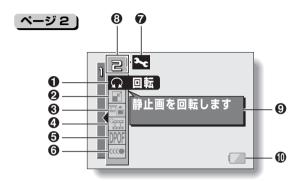
❻消去アイコン[P107]
- データを消去します。

❼オプションアイコン[P130]
- オプション画面を表示します。

❽ページ表示[P98]

❾ヘルプ表示[P97]

❿電池残量表示[P158]

ページ 2

❶回転アイコン[P109]
- 静止画像を回転表示します。

❷リサイズアイコン[P110]
- 静止画の解像度を下げます。

❸静止画抜き出しアイコン[P111]
- 動画クリップから静止画を抜き出します。

❹動画編集アイコン[P113]
- 動画クリップを編集します。

❺プリント予約アイコン[P122]
- プリント予約(DPOF設定)を行います。

❻スムーズ再生アイコン[P128]
- 動画クリップを滑らかに再生します。

❼オプションアイコン[P130]
- オプション画面を表示します。

❽ページ表示[P98]

❾ヘルプ表示[P97]

❿電池残量表示[P158]

再生方式を設定する

データを連続して再生する(連続再生)か、選んだデータだけを再生する(クリップ再生)かを設定します。

1 再生設定画面(ページ1)を出す [P98]

2 再生方式アイコン [▶] を選び、[SET] ボタンを押す

- 再生方式画面が出ます。

[連続再生]：データを連続して再生します。

[クリップ再生]：選んだデータだけを再生します[P49・54]。

3 再生方式を選ぶ

<[連続再生]を選んだ場合>

❶[SET]ボタンを右側に押して静止画切替時間を選ぶ
❷[SET]ボタンを上または下側に押して、静止画切替時間を設定する
❸[SET]ボタンを押す

4 [SET] ボタンを押す

- 再生方式を設定し、再生設定画面に戻ります。

連続再生のしかた

- 再生モードにして[SET]ボタンを押すと、連続再生ができます。

連続再生とスライドショー[P103]の違いは？

- 連続再生では連続再生の一時停止、動画クリップの一時停止・早送り/早戻しなどの操作が可能です。また、再生画面にキー操作のガイド表示や撮影年月日が出て再生操作(一時停止や倍速再生など)ができます。一方、スライドショーは、スライドショーを止める以外の操作はできません。ただし、キー操作のガイド表示や撮影年月日が出ないため、画像が見やすくなっています。また、連続再生では表示中のデータから後の画像を再生して最後の画像を再生後に終了するのに対し、スライドショーでは表示中の画像からすべての画像を再生します。目的に応じて、使い分けると便利です。

スライドショー再生をする

静止画や動画クリップを連続して再生する「スライドショー」の設定をします。静止画のスライドショーでは、切り替え時間や切り替え効果を設定することができます。

1 再生設定画面(ページ1)を出す [P98]

2 スライドショーアイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- スライドショー画面が出ます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[スタート]：スライドショー再生を開始します。

スライドショー
切替時間 ▶ 1 秒
切替効果 ▶
スタート
MENU SET決定

<切替時間または切替効果の設定を変更する場合>

❶[切替時間]または[切替効果]表示を選び、[SET]ボタンを押す
❷[SET]ボタンを上または下側に押し、設定を選ぶ
❸[SET]ボタンを押す

3 [スタート] を選び、[SET] ボタンを押す

- スライドショー再生を開始します。
- 再生中に[SET]ボタンまたは[MENU]ボタンを押すと、スライドショー再生を中止します。

注意!

- スライドショー再生では、音声メモは再生しません。

再生音量を設定する

動画クリップや音声データの再生音量を設定します。

1 **再生設定画面(ページ 1)を出す** **[P98]**

2 **音量アイコン[🔈]を選び、[SET]ボタンを押す**

- 音量バーが出ます。

3 **[SET]ボタンを右または左側に押して、音量を設定し、[SET]ボタンを押す**

- 音量を設定し、再生設定画面に戻ります。

- 動画クリップまたは音声再生中にズームスイッチを上または下側に押すと音量バーが出て、音量を設定することができます。

プロテクト(消去禁止)を設定する

画像や音声ファイルにプロテクト(消去禁止)を設定します。

1 **プロテクトを設定するデータを表示し、再生設定画面(ページ 1)を出す [P98]**

2 **プロテクトアイコン を選び、[SET] ボタンを押す**

- [保護]表示が出ます。
- プロテクトがかかっている画像の場合は、[解除]表示が出ます。

3 **[SET] ボタンを上または下側に押して[保護]を選び、[SET] ボタンを押す**

- ファイルにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したデータには、プロテクトマーク が付きます。
- 再生設定画面に戻る場合は、[MENU]ボタンを押します。

注意!

- プロテクトをかけたファイルでも、カードを初期化すると消えます。

操作2・3の画面で、他の画像を選ぶには

- [SET]ボタンを右または左側に押します。

プロテクトを解除するには

- プロテクトを解除するデータを表示し、操作1～3を行ってください。
プロテクトマークが消え、プロテクトを解除します。

データを消去する

データの消去方法には、データを1つずつ消去する方法と、すべてのデータを一括して消去する方法があります。

1 再生設定画面(ページ 1)を出す [P98]

2 消去アイコン[🗑]を選び、[SET] ボタンを押す

● 消去方法を選ぶ画面が出ます。

[1ファイル消去]：表示しているデータを消去します。

[全ファイル消去]：カード内のすべてのデータを消去します。

3 [SET] ボタンを上または下側に押して消去方法を選び、[SET] ボタンを押す

● データ消去を確認するメッセージが出ます。

<[1ファイル消去]を選んだ場合>

● [SET]ボタンを右または左側に押して、消去するデータを選んでください。

<[全ファイル消去]を選んだ場合>

● [SET]ボタンを右または左側に押して、消去するデータを確認してください。

4 [消去]を選び、[SET]ボタンを押す

＜[1ファイル消去]を選んだ場合＞

- 表示中の画像を消去します。
- 続けてデータを消去する場合は、データを選んで[SET]ボタンを押してください。
- 再生設定画面に戻る場合は、[MENU]ボタンを2回押します。

＜[全ファイル消去]を選んだ場合＞

- 再度、消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んで[SET]ボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

注意！

- プロテクトがかかっている画像は、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください[P105]。

ヒント

- 再生画面で[SET]ボタンを上側に押すと、1ファイル消去の確認画面を出すことができます。

画像を回転表示する

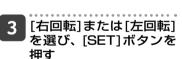
静止画を回転して見ることができます。

1 回転する静止画を表示し、再生設定画面(ページ 2)を出す [P98]

2 回転アイコン[回転]を選び、[SET]ボタンを押す

- 回転画面が出ます。

[右回転]：右方向に90°回転します(時計回り)。
[左回転]：左方向に90°回転します(反時計回り)。

3 [右回転]または[左回転]を選び、[SET]ボタンを押す

- [SET]ボタンを押すごとに、画像が90°回転します。

- プロテクトをかけている場合は、画像を回転することはできません。回転表示にするときは、操作の前にプロテクトを解除してください[P105]。

画像のサイズを変える(リサイズ)

静止画のサイズを小さくして、新しく静止画像を作ることができます。

1 サイズを変える静止画像を表示し、再生設定画面(ページ2)を出す[P98]

2 リサイズアイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- リサイズ画面が出ます。

3 [SET]ボタンを上または下側に押して、変更後の画像サイズを選ぶ

[2M (1600×1200)]：1600×1200ピクセルにします。
[0.3M (640×480)]：640×480ピクセルにします。

4 [SET] ボタンを押す

- サイズ変更を開始します。

ヒント

リサイズできない?

- 変更後の画像サイズより小さい画像や、静止画モードを 0.9M 5.3M に設定して撮影した画像をリサイズすることはできません。

再生設定　画像のサイズを変える（リサイズ）

動画クリップから静止画像を抜き出す

動画クリップ撮影した画像の 1 コマを、1 枚の静止画として保存することができます(元の画像はそのまま残ります)。

1 動画クリップを再生し、静止画にする位置で、一時停止する

2 再生設定画面(ページ 2)を出す [P98]

3 静止画抜き出しアイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- 静止画抜き出し画面が出ます。

[4：3]：表示中の画像を縦横比4：3の静止画で保存します。

[16：9]：表示中の画像を縦横比16：9の静止画で保存します(HDモードで撮影した動画クリップの時のみ選択可能)。

4 [4：3] または [16：9] を選び、[SET] ボタンを押す

- 保存を確認する画面が出ます。

[保存]：表示中の1コマを静止画像として保存します。

[戻る]：静止画抜き出し画面に戻ります。

5 [保存] を選び、[SET] ボタンを押す

● 表示中の1コマを静止画像として保存しました。

HDモードで撮影した動画クリップから[4：3]で保存した場合は

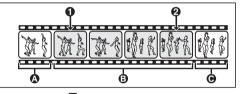
● 640×360ピクセルの静止画の上下に帯を付けた、4：3(640×480ピクセル)のVGA静止画を生成します。

動画クリップを編集する

動画クリップから不要な部分を切り取ることができます(動画クリップのカット(抜き出し))。また、動画クリップをつなぎ合わせて、新しい動画クリップファイルとして保存することができます。(動画クリップのつなぎ合わせ)

動画クリップカット(抜き出し)の操作手順

● カットする位置(❶・❷)を指定する

▼

指定した部分を抜き出す

[2種類のカット方法]

● Ⓐ・Ⓒを削除、Ⓑ部分を保存する

● Ⓑを削除、Ⓐ・Ⓒをつないで保存する

● 元の動画クリップはそのまま残ります。(保存時に消去することもできます。)

動画クリップのつなぎ合わせの操作手順

前部分になる動画クリップを指定する

▼

後ろ部分になる(つなぎ合わせる)
動画クリップを指定する

▼

動画クリップをつなぎ合わせる

● 動画クリップのつなぎ合わせができました。••

● 元の動画クリップはそのまま残ります。
(保存時に消去することもできます。)

注意!

動画クリップ編集時のご注意

- 動画クリップ編集処理中は、メインスイッチを動かさないでください。メインスイッチを動かすと、編集処理が正常に終了しないばかりではなく、編集元の画像まで消えてしまうことがあります。
- 動画クリップが増えて、カードの空き容量がなくなると、編集はできなくなります。このような時は、不要なファイルを消去[P107]するか、編集時に上書き保存[P117·120]を行ってください。

動画クリップカット(抜き出し)

1 抜き出しをする動画クリップを表示する

2 再生設定画面(ページ 2)を出す [P98]

3 動画編集アイコン [icon] を選び、[SET] ボタンを押す

- 動画編集画面が出ます。

4 [カット] を選び、[SET] ボタンを押す

- カット画面が出ます。

5 動画クリップの開始位置を指定する

- 以下の操作で動画クリップが始まるコマを表示してください。
- 再生しておおよその位置を表示し、一時停止をしてからコマ送りで開始位置を指定してください。一時停止した位置が、動画クリップの開始位置になります。
- 動画クリップの先頭から始まるように抜き出す場合は、操作 6 に進んでください。

<操作方法>

再生する：一時停止中に[SET]ボタンを約2秒間右側へ押すと順方向、左側に押すと逆方向に再生します。

一時停止する：再生中に[SET]ボタンを押してください。

倍速再生する：再生中に[SET]ボタンを右または左に押すと、再生速度を変えることができます。

コマ送りする：一時停止中に[SET]ボタンを右側へ押すと順方向、左側に押すと逆方向にコマ送りします。

6 [SET] ボタンを上側に押す

- 動画クリップの終了位置を指定する画面が出ます。
- 開始位置を指定した操作と同じ操作をして、終了位置を指定してください。

<前部分と後部分をつなぐ場合は>

❶[SET]ボタンを下側に押す
- [SET]ボタンを下側に押すたびに、削除する部分が変わります。

❷後部分の開始位置を指定する

7 静止画撮影ボタン［ 📷 ］を押す

● 抜き出し後の動画クリップを新しいファイルとして保存するか、元のファイルを削除して抜き出し後の動画クリップだけを保存するかを選ぶ画面が出ます。

[新規保存]：抜き出し後の動画クリップを新しいファイルとして保存します。

[上書き保存]：元のファイルを削除して抜き出し後の動画クリップだけを保存します。

[再生確認]：動画ファイルを抜き出した後の状態で再生します。

8 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

● 編集を開始します。
● 編集が終わると、再生設定画面に戻ります。

- 元の動画クリップにプロテクトをかけている場合は、操作 8 で[上書き保存]を選んで[SET]ボタンを押しても、元の動画クリップを消去しません。消去するときは、操作の前にプロテクトを解除してください[P105]。
- 「カード残量がありません」というメッセージが出た場合は、不要なファイルを削除してください。

注意!

電池残量に注意してください

- 長時間撮影した動画クリップ編集では、大きなサイズのデータを処理するため、処理時間が長くなります。カメラで動画クリップを編集する時は、処理中に電池がなくならないよう、十分に充電した電池を装着するか、ACアダプターを接続してください。
- 長時間撮影した動画クリップの編集は、パソコンで行うことをおすすめします。

動画クリップを編集する(つづき)

動画クリップのつなぎ合わせ

注意!

- 異なる動画モードで撮影した動画クリップは、つなぎ合せることができません。

1 再生設定画面(ページ 2)を出す [P98]

2 動画編集アイコン[動画編集]を選んで、[SET] ボタンを押す

- 動画編集画面が出ます。

3 [つなぎ合わせ] を選び、[SET] ボタンを押す

- 動画クリップの6画面マルチ再生画面になります。

4 つなぎ合わせる動画クリップにオレンジの枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

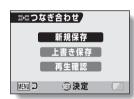
- つなぎ合せを指定した動画クリップには、番号が付きます。
- 最大9個の動画クリップを選択することができます。
- 指定を解除する場合は、指定済みの動画クリップを選んで[SET]ボタンを押してください。

5 静止画撮影ボタン [📷] を押す

- つなぎ合わせ後の動画クリップを新しいファイルとして保存するか、元のファイルを削除してつなぎ合わせ後の動画クリップだけを保存するかを選ぶ画面が出ます。

[新規保存]：つなぎ合わせ後の動画クリップを新しいファイルとして保存します。

[上書き保存]：元のファイルを削除してつなぎ合わせ後の動画クリップだけを保存します。

[再生確認]：動画ファイルをつなぎ合わせた後の状態で再生します。

6 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- 編集を開始します。
- 編集が終わると、再生設定画面に戻ります。

- 元の動画クリップにプロテクトをかけている場合は、操作 6 で[上書き保存]を選んで[SET]ボタンを押しても、元の動画クリップを消去しません。消去するときは、操作の前にプロテクトを解除してください[P105]。
- 「カード残量がありません」というメッセージが出た場合は、不要なファイルを削除してください。

注意!

電池残量に注意してください

- 長時間撮影した動画クリップ編集では、大きなサイズのデータを処理するため、処理時間が長くなります。カメラで動画クリップを編集する時は、処理中に電池がなくならないよう、十分に充電した電池を装着するか、ACアダプターを接続してください。
- 長時間撮影した動画クリップの編集は、パソコンで行うことをおすすめします。

プリントを設定する

静止画像は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。またこのカメラは DPOF 規格を採用しており、プリントする枚数の指定や日付けプリントの有無の指定、さらにインデックスプリントを指定することもできます。

プリント予約画面を出す

1 **再生設定画面（ページ 2）を出す [P98]**

2 **プリント予約アイコン DPOF を選び、[SET] ボタンを押す**

- プリント予約画面が出ます。

[すべての画像]：
カード内のすべての画像にプリントの設定を行います。

[1枚ごと]：
画像1枚ごとにプリントの設定を行います。

[インデックス]：
すべての静止画像を小さな画像で一覧表示用としてプリントします。

[全指定取消し]：
プリント指定の内容をすべて取り消します。プリントを指定していない場合は選べません。

プリントを設定する（つづき）

ヒント

動画クリップの一コマは？

● 動画クリップの画像をプリンタで印刷したりプリントサービスに出す場合は、静止画像として画像を抜き出してから[P111]プリントの設定をしてください。

DPOF規格について

● DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を設定することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント設定をすると、予約画像印刷[P180]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

● 回転した画像は、元の画像の状態でプリントします。
● プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

日付・プリント枚数を予約する

1 画像ごとに個別に予約する方法(1 枚ごと)と、カード内の画像すべてに同じ予約をする方法(すべての画像)があります。

1 プリント予約画面を出す[P122]

2 [すべての画像]または[1枚ごと]を選ぶ

[すべての画像]：
カード内のすべての静止画に、同じプリント予約をします。

[1枚ごと]：
表示している画像にプリント予約をします。

3 [SET] ボタンを押す

- 日付・プリント枚数予約画面が出ます。
- [1 枚ごと]を選んだ場合は[SET]ボタンを右または左側に押して、プリント予約をする画像を表示してください。
- 日付・プリント枚数予約画面には、表示中の画像のプリント予約が出ます。
  [SET]ボタンを右または左側に押すと、各画像のプリント予約が確認できます。

4 日付プリントまたはプリント枚数を予約する

<プリント枚数を予約する>

- [SET]ボタンを上または下側に押す
  - ・枚数表示が変わります。
  - ・希望の枚数を表示してください。

<日付プリントを予約する>

- ズームスイッチを[T]または[W]側に押す
  - ・ズームスイッチを押すたびに、日付表示が出たり消えたりします。
  - ・日付・時刻[P41]を設定しないで撮影した画像の場合、日付表示は「--/--/--」になり、日付プリントはできません。

日付をプリントする
：日付表示を出す
日付をプリントしない
：日付表示を消す

5 [SET] ボタンを押す

- プリント枚数および日付プリントを予約しました。

6 [MENU] ボタンを押す

- プリント予約画面に戻ります。

インデックスプリントをする

一覧表示用として、小さな画像をたくさん印刷することを「インデックスプリント」といいます。撮影した画像の一覧を作成する場合に便利です。

1 プリント予約画面を出す [P122]

2 [インデックス]を選ぶ

3 [SET] ボタンを押す

- インデックスプリント画面が出ます。

[指定]：インデックスプリント予約をします。

[戻る]：予約を中止して、プリント予約画面に戻ります。

4 [指 定]を 選 び、[SET] ボタンを押す

- インデックスプリントの予約をし、プリント予約画面に戻ります。

ヒント

インデックスプリントの予約を解除するには

- 操作1・2を行い、操作3で[解除]を選んで[SET]ボタンを押してください。

プリントを設定する(つづき)

すべての画像のプリント予約を取り消す

画像のプリント予約をすべて取り消します。

1 プリント予約画面を出す[P122]

2 [全指定取消し]を選ぶ

3 [SET] ボタンを押す

- 全指定取消し確認画面が出ます。

[取消し]：すべての画像のプリント予約を取り消します。

[戻る]：プリント予約の取り消しを中止して、プリント予約画面に戻ります。

4 [取消し]を選び、[SET] ボタンを押す

- すべての画像のプリント予約を取り消して、プリント予約画面に戻ります。

スムーズ再生する

カメラを速く動かして撮影した動画クリップを再生した際などのちらつきを抑えることができます。

1 再生設定画面(ページ 2)を出す [P98]

2 スムーズ再生アイコン を選び、[SET]ボタンを押す

- スムーズ再生画面が出ます。

[ON]：スムーズ再生します。

[OFF]：スムーズ再生しません。

3 [ON] を選び、[SET] ボタンを押す

- スムーズ再生の設定ができました。

ヒント

- 撮影条件によっては、効果がない場合もあります。
- HDモードで撮影した動画クリップには機能しません。
- 専用D端子ケーブルやHDMIケーブルでテレビに接続して再生した場合は機能しません。

画像情報を表示する(インフォ画面)

撮影画像の情報を表示(インフォ画面)することができます。

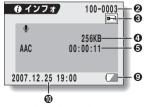
1 情報を表示する画像を出す

2 [MENU] ボタンを約 1 秒以上押す

- インフォ画面が出ます。
- インフォ画面は、再度[MENU]ボタンを押すと消えます。

<動画クリップの場合>

❶動画モードの設定
❷画像または音声番号
❸プロテクトの設定
❹ファイルサイズ
❺撮影または録音時間
❻露出補正の設定
❼絞り値
❽シャッタースピード
❾電池残量表示
❿撮影年月日、時刻
⓫静止画モードの設定
⓬ISO感度の設定

<静止画像の場合>

<音声データの場合>

オプション画面を出す

カメラの設定は、オプション画面で行います。

1 電源を入れ、[MENU]ボタンを押す

- 撮影または再生設定画面が出ます。

2 [SET]ボタンを上または下側に押してページ表示を選ぶ

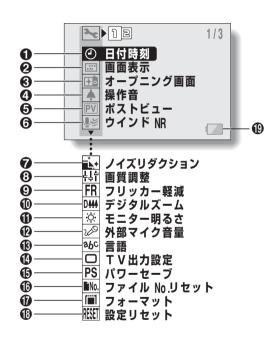
3 [SET]ボタンを右側に押してオプションアイコンを選ぶ

- オプション画面が出ます。
- オプション画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

4 [SET]ボタンを下側に押す

- メニューが出ます。

オプション画面を出す（つづき）

オプション画面の紹介

❶日付時刻アイコン[P41]
- カメラの内蔵時計を設定します。

❷画面表示アイコン[P133]
- 再生画面に表示する情報を設定します。

❸オープニング画面アイコン[P134]
- カメラ起動時に出る画面を設定します。

❹操作音アイコン[P135]
- カメラのボタンを押した時に鳴る音や音量を設定します。

❺ポストビューアイコン[P137]
- 静止画撮影ボタンを押した後、撮影した画像がモニターに出る時間を設定します。

❻ウィンドNRアイコン[P138]
- ウィンドノイズリダクション機能のON/OFFを設定します。

❼ノイズリダクションアイコン[P139]
- ノイズリダクション機能のON/OFFを設定します。

❽画質調整アイコン[P140]
- カメラが撮影する時の画質を調整します。

❾フリッカー軽減アイコン[P141]
- フリッカー軽減機能のON/OFFを設定します。

❿デジタルズームアイコン[P142]
- デジタルズームのON/OFFを設定します。

⓫モニター明るさアイコン[P143]
- モニターの明るさを設定します。

⓬外部マイク音量アイコン[P144]
- カメラに接続したマイクの入力レベルを設定します。

⓭言語アイコン
- このカメラは、日本語のみの表示です。他の言語には設定できません。

⓮TV出力設定アイコン[P145]
- カメラの[USB/AV]端子から出力する映像信号の方式を設定します。

⓯パワーセーブアイコン[P149]

⓰ファイルNo.リセットアイコン[P151]
- ファイルNo.リセット機能を設定します。

⓱フォーマットアイコン[P154]
- カメラにセットしたカードをフォーマットします。

⓲設定リセットアイコン[P156]
- 各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

⓳電池残量表示[P158]

※❼～⓲のアイコンは、[SET]ボタンを上下に押して、画面をスクロールすると出ます

画面表示を設定する

再生画面に表示する情報を設定します。

1 オプション画面を出す [P130]

2 画面表示アイコン ▦ を選び、[SET] ボタンを押す

- 画面表示画面が出ます。

[日付・時刻]：撮影年月日を表示します。

[カウンター]：動画クリップ再生時の再生時間を表示します。

[すべて表示]：撮影年月日および再生時間（動画クリップ時）を表示します。

[OFF]：撮影年月日および再生時間を表示しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- 画面表示を設定しました。

- プログレッシブ出力再生時[P171]、日付/時刻およびカウンターを表示しません。

オープニング画面を設定する

撮影モードでカメラの電源を入れた直後に液晶モニターに出る画面をオープニング画面といい、この画面を設定します。

1 オプション画面を出す [P130]

2 オープニング画面アイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- オープニング画面の設定画面が出ます。

[日付・時刻]：カメラで設定している日付時刻を出します。

[Xacti]：Xactiロゴを表示します。

[OFF]：オープニング画面を出しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- オープニング画面を設定しました。

操作音を設定する

カメラの起動／終了時に鳴る音や音声ガイド、カメラのボタン（静止画撮影ボタン、[SET] ボタンや [MENU] ボタンなど）を押した時に鳴る操作音（確認音）や音量が設定できます。

1 オプション画面を出す [P130]

2 操作音アイコン［▲］を選び、[SET]ボタンを押す

- 操作音画面が出ます。
- 操作音画面には、現在の操作音の設定が出ます。
- [すべてOFF]を選んで[SET]ボタンを押すと、すべての音を出しません。
- [MENU]ボタンを押すと、オプション画面に戻ります。

[起動/終了]：
カメラの電源をON/OFFした時に出る音です。

[シャッター]：
静止画撮影ボタンを押した時に出る音です。

[キー操作]：
カメラのボタン（[SET]ボタン、[MENU]ボタンなど）を押した時に出る音です。

[音声ガイド]：
カメラの操作を音声でお知らせする機能です。

3 [設定変更]を選び、[SET]ボタンを押す

- 設定をする画面が出ます。

4 [SET]ボタンを上または下側に押して、設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す

- 操作音選択画面が出ます。

〈[起動/終了] [音声ガイド]を選んだ場合〉

・起動/終了音または音声ガイドを鳴らすか鳴らさないかを選ぶ画面が出ます。
・上側または下側に押してどちらかを選び、[SET]ボタンを押してください。
[ON]：音が鳴ります。　**[OFF]**：音が鳴りません。

〈[シャッター] [キー操作]を選んだ場合〉

・操作音を選ぶ画面が出ます。
・AからFの6種類の音があります。
・[SET]ボタンを右側に押すと、選んでいる操作音を聞くことができます。
・[OFF]を選ぶと、操作音は鳴りません。
・上側または下側に押して操作音を選び、[SET]ボタンを押してください。

〈[操作音量]を選んだ場合〉

・操作音量を選ぶ画面が出ます。
・操作音量は、1(最小)から7(最大)までの範囲で選べます。
・[SET]ボタンを上または下側に押して音量を選び、[SET]ボタンを押してください。

5 [MENU] ボタンを押す

- 操作音を設定しました。

- [MENU]ボタンを押した状態で電源を入れると、操作音のON/OFF画面が出ます。操作音を出したくない場所で操作音を消す場合に便利です。

ポストビューを設定する

静止画撮影ボタンを押した後、撮影した画像がモニターに出る(ポストビュー)時間を設定します。

1 オプション画面を出す [P130]

2 ポストビューアイコン PV を選び、[SET] ボタンを押す

- ポストビュー画面が出ます。

[1秒]：ポストビューを1秒間出します。

[2秒]：ポストビューを2秒間出します。

[OFF]：ポストビューを出しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- ポストビューを設定しました。

ウインドノイズリダクション機能を設定する

風の強い場所で動画クリップを撮影したり、音声を録音した場合に発生するノイズを軽減する機能(ウインドノイズリダクション機能)のON/OFFを設定します。

1 オプション画面を出す [P130]

2 ウインドNRアイコン[マイク・風アイコン]を選び、[SET]ボタンを押す

● ウインドNR画面が出ます。

[ON]：ウインドノイズリダクション機能をONにします。

[OFF]：ウインドノイズリダクション機能をOFFにします。

3 目的の設定を選び、[SET]ボタンを押す

● ウインドノイズリダクション機能を設定しました。

ヒント

● 通常は、ウィンドNRの設定を[OFF]にして使用してください。ノイズがない場所で撮影や録音したとき、不自然な音声になります。

ノイズリダクション機能を設定する

静止画撮影時のノイズを軽減し、クリアな撮影を可能にします。

1 オプション画面を出す
[P130]

2 ノイズリダクションアイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- ノイズリダクション画面が出ます。

[ON]：ノイズを軽減します。

[OFF]：ノイズを軽減しません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- ノイズリダクションの設定ができました。

- ノイズリダクション機能は、シャッタースピードが1/4より遅い時に動作します。
- 通常の撮影に比べ、撮影後の画像処理に若干の時間がかかります。
- 静止画モードを連写撮影に設定している時に、ノイズリダクション機能をONにすると、静止画モードは自動的に7M-Sになります。

画質を調整する

カメラが撮影する時の画質を調整します。

1 オプション画面を出す [P130]

2 画質調整アイコン [icon] を選び、[SET] ボタンを押す

- 画質調整画面が出ます。

[ノーマル]：通常の画質で撮影します。

[ビビッド]：
彩度を上げて撮影します。

[ソフト]：
シャープネスを弱くしてソフトに撮影します。

[ソフトビビッド]：
シャープネスを弱くしてソフトにし、彩度を上げて撮影します。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- 画質の調整を設定しました。

フリッカー軽減機能を設定する

フリッカーとは、蛍光灯の下で動画クリップ撮影をしたときに発生する画面のちらつきのことで、このカメラはこのちらつきを抑えるフリッカー軽減機能を搭載しています。この機能は、電源周波数が50Hzの地域のフリッカーに対して効果があります。

1 オプション画面を出す [P130]

2 フリッカー軽減アイコン FR を選び、[SET]ボタンを押す

- フリッカー軽減画面が出ます。

[ON]：フリッカー軽減機能をONにします。

[OFF]：フリッカー軽減機能をOFFにします。

FR フリッカー軽減
ON
OFF
MENU SET決定

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- フリッカー軽減機能の設定ができました。

ヒント

- よく晴れた屋外でフリッカー軽減機能を使うと、ハレーション(強い光が当った部分の周囲が白くぼやけて写る現象)を起こす場合があります。
- マニュアル露出とフリッカー軽減機能を同時に設定することはできません。
- フリッカー軽減機能[ON]設定時、動画クリップ撮影でのシャッタースピードは1/50秒に固定です。

デジタルズームを設定する

撮影時にデジタルズームを使う / 使わないを設定することができます。

1 オプション画面を出す [P130]

2 デジタルズームアイコン D を選び、[SET] ボタンを押す

- デジタルズーム画面が出ます。

[ON]：デジタルズームを使います。

[OFF]：デジタルズームを使いません。

3 目的の設定を選び、[SET] ボタンを押す

- デジタルズームを設定しました。

- 以下の設定時、デジタルズームは使えません。
静止画モードを 10M に設定している

モニターの明るさを設定する

カメラのモニターの明るさを設定します。周囲の明るさによって、モニターの表示が見づらい場合は、モニターの明るさを設定してください。

1 オプション画面を出す [P130]

2 モニター明るさアイコン [☼] を選び、[SET] ボタンを押す

- モニターの明るさ画面が出ます。

3 [SET]ボタンを右または左側に押して、明るさを設定し、[SET]ボタンを押す

- モニターの明るさを設定しました。

ヒント

- 撮影画面で[MENU]ボタンを約1秒以上押すと、操作 2 の画面が出てモニターの明るさを設定することができます。

外部マイクの音量を設定する

カメラに接続したマイクの入力レベルを設定することができます。

1 オプション画面を出す
[P130]

2 外部マイク音量アイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- 音量を設定するバーが出ます。

3 [SET] ボタンを右または左側に押して、入力レベルを設定し、[SET] ボタンを押す

- 外部マイクの入力レベルを設定しました。

TV出力を設定する

[USB/AV] 端子や [COMPONENT] 端子、[HDMI] 端子から出力する映像信号の方式を設定します。

1 オプション画面を出す [P130]

2 TV出力設定アイコン[▭]を選び、[SET] ボタンを押す

- TV出力設定画面が出ます。

[TV方式]：
[USB/AV]端子から出力するテレビ信号の方式を設定します。

[TVタイプ]：
テレビの縦横比を設定します。

[コンポーネント/HDMI]：
[COMPONENT]および[HDMI]端子から出力する信号を設定します。

例：[TV 方式]を選んだ場合

3 設定する項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 設定をする画面が出ます。

<[TV方式]を選んだ場合>

[NTSC]：NTSC方式の映像信号を出力します(日本･北米など)。
[PAL]：PAL方式の映像信号を出力します(ヨーロッパなど)。

<[TVタイプ]を選んだ場合>

[4：3]：画面の縦横比が4：3のテレビに接続する時の設定です。
[16：9]：画面の縦横比が16：9のテレビに接続する時の設定です。

<[コンポーネント/HDMI]を選んだ場合>

[720p]：出力する信号を720p(D4)に設定します。
[480p]：出力する信号を480p(D2)に設定します。

4 [SET] ボタンを上または下側に押し、設定を選ぶ

5 [SET] ボタンを押す

6 [MENU] ボタンを押す

- TV出力を設定しました。

ＴＶ出力を設定する(つづき)

[TVタイプ]の設定とテレビ表示の関係

[TVタイプ] の設定を変更した時、カメラが出力する映像信号は、以下のようになります。ただし、ご使用のテレビによってはテレビ独自の自動判別機能により下表のような表示にならなかったり、テレビの表示が変わらない場合があります。

[TVタイプ]の設定	接続するテレビの種類	表示する画像データ	テレビの表示
[4：3]	4：3	静止画	
		ノーマルモード動画クリップ	
		HD モード動画クリップ	

[TVタイプ]の設定	接続するテレビの種類	表示する画像データ	テレビの表示
[16：9]	16：9	静止画	
		ノーマルモード動画クリップ	
		HDモード動画クリップ	

※静止画は、静止画モードを5.3M 0.9M以外に設定し、撮影した例です。

注意!

テレビの表示が正しくない？

- テレビの映像が正しくない場合は、[TVタイプ]の設定を変更するか、テレビの画面サイズ設定を変更してください。テレビの画面サイズ設定については、ご使用になる機器の取扱説明書を参照してください。

静止画の表示が16：9にならない？

- 5.3M 0.9M以外の静止画モードで撮影した静止画は、4：3で出力します。

パワーセーブ機能を設定する

このカメラには、カメラを使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に省電力状態になるパワーセーブ機能があります。
パワーセーブ状態になるまでの時間(待機時間)を設定することができます。

1 オプション画面を出す [P130]

2 パワーセーブアイコン PS を選び、[SET]ボタンを押す

- パワーセーブ画面が出ます。

[電池:撮影]:電池を使った撮影モードでの待機時間を設定します。

[電池:再生]:電池を使った再生モードでの待機時間を設定します。

[AC:撮影/再生]:AC電源使用時の撮影/再生モードでの待機時間を設定します。

3 設定する項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 待機時間の設定画面が出ます。

＜例：[電池/撮影] を選んだ場合＞

4 [SET] ボタンを上または下側に押し、待機時間を設定する

上側に押す： 待機時間が長くなります。

下側に押す： 待機時間が短くなります。

5 [SET] ボタンを押す

- 待機時間を設定しました。

6 [MENU] ボタンを押す

- オプション画面に戻ります。

ファイルNo.リセット機能を設定する

初期化したカードを使うと、撮影した画像のファイル名(画像番号)は自動的に 0001 から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び 0001 から始まります。これはファイル No. リセット機能が入 [ON] になっているためですが、この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など、誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイル No. リセット機能を切 [OFF] にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルNo.リセット機能　入[ON]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0001、0002……0012、0013

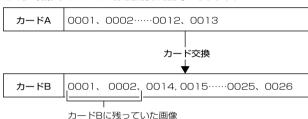
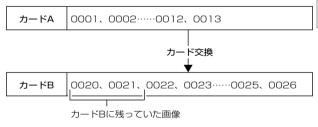
〈ファイルNo.リセット機能　切[OFF]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

カード交換

カードB	0014、0015……0025、0026

●交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。

交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた：撮影中のファイル名を継続した番号になります。

交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた：最後のファイル名からの連番になります。

ファイルNo.リセット機能を設定する(つづき)

1 オプション画面を出す
[P130]

2 ファイル No. リセットアイコン [No.] を選ぶ

3 [SET] ボタンを押す

- ファイルNo.リセット画面が出ます。

[ON]：
ファイルNo.リセット機能をONにします。

[OFF]：
ファイルNo.リセット機能をOFFにします。

4 [OFF] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルNo.リセット機能を切に設定しました。

- ファイルNo.リセット機能は、ONにするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、ONに戻すことをおすすめします。

カードをフォーマット(初期化)する

・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカードは、必ずこのカメラで初期化(フォーマット)してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、初期化できません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、初期化をしてください。

1 オプション画面を出す [P130]

2 フォーマットアイコン を選び、[SET] ボタンを押す

- フォーマットの方法を選ぶ画面が出ます。
- 普段の使用で、完全フォーマットをする必要はありません。しかし、通常のフォーマットをしてもカードに関するエラーが出る場合は、完全フォーマットを行ってください。

[フォーマット]：
通常のフォーマットを行います。

[完全フォーマット]：
物理フォーマットを行います（電池残量が少ない場合は、選択できません)。

3 フォーマットの方法を選び、[SET]ボタンを押す

- 確認画面が出ます。

4 [はい]を選び、[SET]ボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、[フォーマット中　電源を切らないでください]表示が出ます。

注意!

初期化中のご注意

- 初期化中は、カメラの電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。

初期化をすると、データが消えます

- カードを初期化すると、カードに記録したデータは、すべて消えます。プロテクト[P105]したデータも消えますので、初期化をする前に大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

カードを廃棄／譲渡するときのご注意(初期化をしてもデータが復元できる?)

- カメラやパソコンの機能によるデータの削除やフォーマットをしても、カードの管理情報を変更するだけで、データはカードに残ったままで、完全には消去できません。
- フォーマットを行っても、データを復元するソフトを使うと、カード内のデータを復元できる場合があります。一方、本機で完全フォーマットを行うと、復元ソフトを使ってもデータの復元ができなくなります。
- カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、カード本体を物理的に破壊するか、本機で完全フォーマットを実行するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することことをおすすめします。カード内のデータは、お客さまの責任において管理してください。

ヒント

初期化を中止するには

- 操作4で[いいえ]を選び、[SET]ボタンを押してください。

カメラの設定をリセットする

各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 オプション画面を出す

[P130]

2 設定リセットアイコン RESET を選び、[SET] ボタンを押す

- 設定リセット画面が出ます。

[リセット]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

[戻る]：カメラの設定を変えず、オプション画面に戻ります。

3 [リセット] を選び、[SET] ボタンを押す

- カメラの設定を工場出荷時の設定にします。

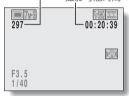
- 設定をリセットしても、以下の設定は保持します。
  日付時刻の設定
  TV方式の設定

カードの空き容量をチェックする

カードの空き容量は、撮影可能枚数や撮影可能時間、録音可能時間で確認することができます。1 枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 / 録音可能時間 [P228]」を参照してください。

撮影可能枚数/時間のチェック

1 メインスイッチを[REC]に合わせ、電源を入れる[P36]

- モニターの左上に、撮影可能枚数を表示します。
- モニターの右上に、撮影可能時間を表示します。
- 撮影可能枚数や時間表示は、撮影画質の設定に応じて変わります。

録音可能時間のチェック

1 録音可能状態にする[P63]

- 録音可能時間が出ます。

ヒント

- 撮影可能枚数または、撮影可能時間表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、パソコンに画像を保存した後、画像を消去[P107]してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、画質を変えると[P79·81]撮影が可能になる場合があります。

電池残量をチェックする

電池を使用している場合は、モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は 227 ページを参照してください。

1 撮影または再生設定画面を出す [P73・97]

- モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には ▱ 表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

電池残量表示

電池残量表示	電池の残量
表示なしまたは ▮	ほぼいっぱいの容量があります。
◩	容量が少なくなりました。
▱	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
▱（点滅）	撮影時、静止画撮影または動画撮影ボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。電池を充電してください。

ヒント

- 撮影画像がある場合は、インフォ画面でも電池残量が確認できます[P129]。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件(フラッシュの発光回数、モニターの入/切)や周囲の温度(10℃以下の低温)によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。
- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が速くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします(スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください)。

パソコンに接続する

カメラで記録したデータの形式やカード内のディレクトリ構造は、以下のとおりです。

外部ドライブとしての使用上の注意

- カメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがデータを認識できなくなる場合があります。
  変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

動作環境

Windows

USB ポートを標準搭載し、Windows 2000, Me 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。Windows をアップグレードした環境での動作は、保証しません。

Macintosh

USB ポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X10.1 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画像データ	JPEG	SANYで始まる。拡張子は「.jpg」。 SANY****.jpg
動画クリップデータ	MPEG-4	SANYで始まる。拡張子は「.mp4」 SANY****.mp4
音声データ	MPEG-4 Audio（AAC圧縮）	SANYで始まる。拡張子は「.m4a」。 SANY****.m4a*

*記録した順に続き番号が入る

パソコンに接続する(つづき)

カードのディレクトリ構造

※100SANYOフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影/録音すると、新たに101SANYOフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102SANYO、103SANYO･･･となります。

ヒント

ボリューム名について

- このカメラでフォーマットしたカードの場合は[XACTI HD2]、パソコンなどでフォーマットしたカードの場合は[リムーバブルディスク]になります。

カメラで撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTimeを使用して、パソコンで再生することができます。
また、その他のISO標準MPEG-4(AACオーディオ)対応ソフトウェアで再生できる場合があります。
付属のCD-ROM(SANYO Software Pack)にはWindows版のQuickTime 7.1を添付しています。

カメラで録音した音声データについて

- 音声データの拡張子(.m4a)を「.mp4」に変えると、ISO標準MPEG-4(AACオーディオ)対応ソフトウェアで再生できる場合があります。

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.リセット機能を[OFF]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します[P151]。

注意!

カメラで再生する場合はカードのデータをパソコンで書き換えないでください

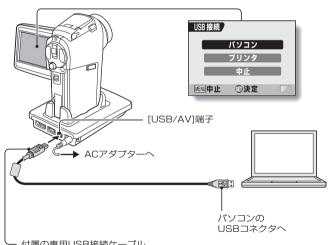
- カメラで撮影した画像や音声のデータは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

カードリーダーモードにする

1 **パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでドッキングステーションをパソコンに接続する**

- ドッキングステーションの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

2 **[ON/OFF] ボタンを押してカメラの電源を入れ、カメラをドッキングステーションにセットする**

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

- プラグの[▲]マークを上にしてください。

パソコンに接続する（つづき）

3 ［パソコン］を選び、［SET］ボタンを押す

- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。

4 ［カードリーダー］を選び、［SET］ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

双方向のデータのやり取りはしないでください

- カードリーダーモードでカメラからパソコンにデータをコピーしている最中に、パソコンのデータをカメラへコピーするような操作は行わないでください。

HDモードの動画クリップを再生するには

HD SHQ または HD HQ で撮影した動画クリップを再生する場合のパソコンおよびアプリケーションソフトウェアの動作環境は、以下のとおりです。

	Windows®	Macintosh®
OS*	Windows® 2000/ Windows® XP (Quick Time 7.0.1 以降)/ Windows® Vista (USB 搭載機)	Mac OS X 10.3.6 以降 (Quick Time 6.5.2 以降) (USB 搭載機)
CPU	Pentium4 3.0GHz 以上	PowerPC G5 1.6GHz 以上
メモリ	512MB 以上 (推奨1024MB以上)	512MB 以上
ビデオメモリ	64MB 以上 (推奨 256MB 以上)	64MB 以上

＊：OSはプリインストールしたモデルに限ります。

パソコンに接続する(つづき)

Windows XP/Vista

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P162]

[P162]

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識(マウント)し、[XACTI HD2(E:)]ウィンドウが開きます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- [XACTI HD2(E:)]ウィンドウから、目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

<Windows Vistaの場合>

- ウィンドウを閉じてください。

2 カメラのドライブ(E:)を右クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Windows 2000

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P162]

- パソコンのモニターにWindowsのCD-ROMの装着を促すメッセージが出た場合は、メッセージに従ってドライバをインストールしてください。
- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの [ハードウェアの取り外しまたは取り出し] アイコンを左クリックし、サブメニューから [ハードウェアを取り外すかまたは取り出す] を右クリックする

- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

2 [ハードウェアデバイス] リストの [USB 大容量記憶装置デバイス] を左クリックし、[停止] ボタンを左クリックする

- [ハードウェアデバイスの停止]ダイアログボックスが出ます。

パソコンに接続する(つづき)

Windows 2000(つづき)

3 [SANYO HD2 USB Device] を左クリックし、[OK] ボタンを左クリックする

- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

4 [OK] ボタンを左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS 9.XX

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P162]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[XACTI HD2]アイコンが出ます。
- [XACTI　HD2]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

[注意！]

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[XACTI HD2]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

- デスクトップから[XACTI HD2]アイコンが消えます。
- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS X

マウント／アンマウントは、Mac OS9.xxの場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

注意!

Mac OS XのClassic環境でお使いの場合

- カメラに装着したカード内のデータを直接読み書きすることはできません。データはいったんハードディスクに保存してください。

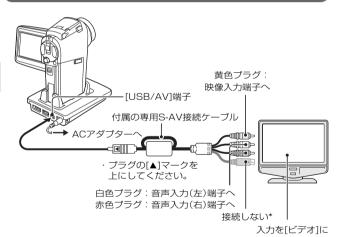
テレビに接続する

カメラをテレビに接続すると、記録したファイルをテレビで再生することができます。

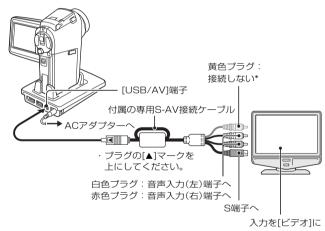
注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

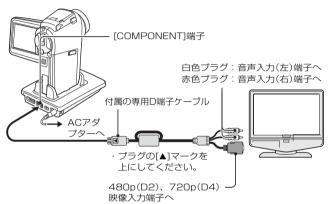
- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

通常の映像入力端子に接続する

*接続すると、テレビに映像が正常に出ない場合があります。

<接続アダプターで接続する場合は>
接続アダプターをカメラに装着して付属の専用S-AV接続ケーブルで接続アダプターの[USB/AV]端子とテレビの映像･音声入力端子を接続してください。

<S映像入力端子に接続する場合>

*接続すると、テレビに映像が正常に出ない場合があります。

より高画質で楽しむ(プログレッシブ出力)

テレビに 480p(D2)、720p(D4)映像入力端子がある場合は、カメラの映像をプログレッシブ出力による高画質で楽しむことができます。

撮影する時：モニターにのみ画像が出ます。テレビには画像が出ません。
再生する時：テレビにのみ画像が出ます。モニターには画像が出ません。
※日付/時刻およびカウンターは出ません。

注意!

- 専用S-AV接続ケーブルと専用D端子ケーブルを同時にドッキングステーションに接続しないでください。テレビに映像が正常に出ない場合があります。

テレビが480p(D2)、720p(D4)映像入力に対応していない場合
- 映像は出ません。

メニュー画面がカメラとテレビで違う？
- メニュー画面はテレビにのみ出ますので、テレビを見てカメラを操作してください。

HDMI端子に接続する

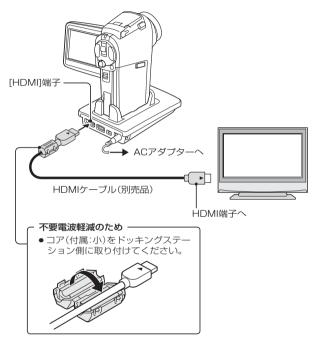
[HDMI]端子

ACアダプターへ

HDMIケーブル(別売品)

HDMI端子へ

不要電波軽減のため

● コア(付属:小)をドッキングステーション側に取り付けてください。

● HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

テレビに接続する(つづき)

テレビで再生する

- 接続後、テレビの入力切り替えを[ビデオ]入力にしてください。
- S-AV接続ケーブルをつないだ時は、カメラのモニターの表示が消えます。
- 音声を再生する時も、カメラで再生する時と同じ操作で再生できます。
  音声の再生：P65
- リモコンで再生ができます[P66]。
- カメラで再生するときと同じ操作で再生できます。
- ドッキングステーションに装着しているカメラがスリープ状態になった場合は、ドッキングステーションの動作モードボタン(⚡)を押すとカメラの電源を入れることができます。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

ヒント

[PAL]に設定し[P145]、付属の専用S-AV接続ケーブルを接続した場合の表示について

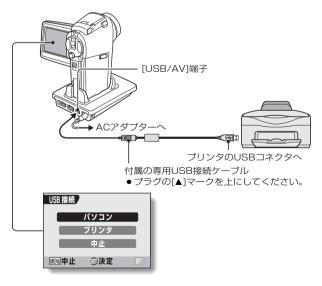
撮影する時：モニターにのみ画像が出ます。テレビには画像が出ません。
再生する時：テレビにのみ画像が出ます。モニターには画像が出ません。

ダイレクト印刷をする

このカメラはPictBridgeに対応しています。このカメラはPictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラのモニターで写真選択や印刷開始を指定することができます(PictBridge印刷)。

印刷の準備

1 カードをカメラに装着し、モニターユニットを開けて電源を入れ、プリンタの電源を入れる

2 付属のドッキングステーションまたは接続アダプターを使って、カメラとプリンタを接続する

ダイレクト印刷をする(つづき)

3 [プリンタ]を選び、[SET]ボタンを押す

4 PictBridge印刷モードになる

- PictBridge印刷モードになり、印刷指定画面が出ます。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

プリンタ接続時の注意

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中での操作は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

1枚の画像を選んで印刷する(選択画像印刷)

静止画像を選んで印刷します。

1 印刷の準備をする[P174]

2 選択画像印刷アイコン [🖨] を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷画像の選択画面が出ます。

3 [SET] ボタンを右または左に押す

- 印刷する画像を表示してください。

4 印刷枚数を設定する

❶[SET]ボタンを上側に押して[枚数]を選び、[SET]ボタンを押す
❷[SET]ボタンを上または下側に押して、印刷枚数を設定する
❸[SET]ボタンを押す
- [印刷]を選んだ状態になります。

5 [SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。

印刷を中止するには

❶印刷中に[SET]ボタンを下側に押す
・印刷中止の確認画面が出ます。
❷[はい]を選び、[SET]ボタンを押す
・[戻る]を選んで[SET]ボタンを押すと、印刷を続行します。

すべての画像を印刷する(全画像印刷)

カード内の画像をすべて印刷します。

1 印刷の準備をする[P174]

2 全画像印刷アイコン ALL を選び、[SET] ボタンを押す

- 全画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。

注意!

静止画が1000枚以上ある場合は印刷できません

- 不要な画像を消去してから印刷してください。

ダイレクト印刷をする(つづき)

一覧印刷をする(インデックス印刷)

カード内のすべての静止画を小さく一覧印刷します。

1 印刷の準備をする[P174]

2 インデックス印刷アイコン INDEX を選び、[SET] ボタンを押す

- インデックス印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。

プリント予約をした画像を印刷する（予約画像印刷）

プリントの予約をした静止画を印刷します。

1 プリントの予約 [P122] をし、印刷の準備をする [P174]

2 予約画像印刷アイコン [D🖨] を選び、[SET] ボタンを押す

- 予約画像印刷画面が出ます。

3 [印刷]を選び、[SET] ボタンを押す

- 印刷を開始します。
- [SET]ボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

ヒント

- 操作 2 で、[SET]ボタンを右または左側に押すと、印刷する画像とプリントの予約内容を確認することができます。

注意!

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷[D🖨]はできません。

ダイレクト印刷をする（つづき）

印刷設定を変えて印刷する（プリンタ設定変更）

用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする[P174]

2 プリンタ設定変更アイコン[プリンタ設定変更アイコン]を選び、[SET] ボタンを押す

● プリンタ設定変更画面が出ます。

[紙種]：
印刷用紙の紙質を設定します。

[用紙サイズ]：
印刷用紙のサイズを設定します。

[レイアウト]：
印刷用紙への画像の配置を設定します。

[印刷品質]：
印刷画像の美しさを設定します。

[日付印刷]：
撮影年月日を印刷します。

3 プリンタの設定をする

❶[SET]ボタンを上または下側に押して設定する項目を選び、[SET]ボタンを押す
・設定を選ぶ画面が出ます。

❷[SET]ボタンを上または下側に押して設定を選び、[SET]ボタンを押す
・選んだ項目を設定し、プリンタ設定変更画面に戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

<[プリンタ設定]を選んだ場合>
・プリンタで設定している条件で印刷します。

<[紙種] を選んだ場合 >

4 [MENU] ボタンを押す

● PictBridge　MENUに戻ります。

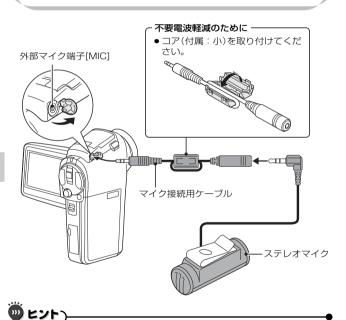
ヒント

● プリンタ設定変更画面の設定項目は、接続するプリンタによって異なります。
● プリンタ設定変更画面に出ないプリンタ機能を使う場合は、[プリンタ設定]に設定してください。
● プリンタにない機能をカメラで設定した場合、カメラの印刷設定は自動的に[プリンタ設定]になります。

外部マイクを接続する

このカメラには、市販のステレオマイクを接続することができます。

推奨ステレオマイク：三洋コンシューママーケティング㈱
サービス部門扱い（商品コード：645 056 9692）

ヒント

- 接続したマイクの入力レベルを設定することができます[P144]。
- 外部マイクを接続すると、カメラのステレオマイクは使えません。

SANYO Software Pack について

SANYO Software Packには、以下のソフトウェアが入っています。
各ソフトウェアの概要は、187 ページをご覧ください。

- QuickTime 7.1 ：以降「QuickTime」と表記します。
- iTunes 7：以降「iTunes」と表記します。
- PhotoExplorer8.5 SE Basic（Windows）：以降「フォトエクスプローラ」と表記します。
- Ulead DVD MovieWriter 5.0 SE（Windows）：以降「MovieWriter」と表記します。
- Xacti Screen Capture 1.1（Windows）：以降「Screen Capture」と表記します。

※フォトエクスプローラとMovieWriterは、MPEG-4に対応しています。これらのアプリケーションソフトウェアをインストールすると、MPEG-4ファイルを再生することができます。

SANYO Software Pack について(つづき)

CD-ROMのディレクトリ構造

SANYO Software Packのディレクトリ構造の概略は、以下のとおりです。

＜Windowsの場合＞

Sanyo Disc (D:)*

- PhotoExplorer
- iTunes
- DVD MovieWriter
- Screen Capture

＜Macintoshの場合＞

Sanyo Disc

- iTunes

*：ドライブ名(D:)は、お使いのパソコンによって異なります。

より楽しんでいただくために(電子マニュアルについて)

弊社ホームページでは、暮らしの中でこのカメラを楽しんでいただくためのヒントを紹介しています。ホームページへは、SANYO Software Pack のトップ画面(インストール画面)からアクセスすることができます。ぜひご覧いただき、このカメラを存分にお楽しみください。

動作環境

アプリケーションソフトウェアの動作環境を以下に示します。HD モードの動画クリップを扱う場合の動作環境は、164 ページを参照してください。

	Windows® 版	Macintosh® 版
ソフトウェア	PhotoExplorer, DVD MovieWriter, QuickTime 7.1, iTunes 7.0 Xacti Screen Capture 1.1	QuickTime 7.1, iTunes 7.0
OS*	Windows®2000/ Windows®XP/ Windows®Vista （USB 搭載機）	Mac OS X 10.3.9 以降 （USB 搭載機）
CPU	Pentium Ⅲ 800MHz 以上	Power PC G3 400MHz 以上
メモリ	512MB 以上 （推奨 1024MB 以上）	128MB 以上
その他	Direct X9.0 以上	ー

*OSはプリインストールしたモデルに限ります。

アプリケーションソフトウェアのインストール

SANYO Software Packには、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、カメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●フォトエクスプローラ＊2
カメラで記録したデータをグラフィカルな画面で、分かりやすく管理することができます。

●MovieWriter＊2
ビデオや音楽、写真、データなどパソコンで扱うさまざまなファイルをディスクに書き込む統合ツールです。

●iTunes
コンピュータですべての音楽やその他のオーディオファイルを整理したり聴いたりできる音楽ソフトウェアです。

●Screen Capture
パソコンの画像をカメラに保存します。

●QuickTime＊1
動画クリップを再生します。音声も同時に再生できます。
このカメラで撮影した動画クリップを見る場合は、必ずインストールしてください(Windowsの場合)。iTunesをインストールすると、同時にインストールできます。

*1：QuickTimeは、QuickTime Proにアップグレードできます。QuickTime Proは、QuickTimeムービーの編集などが可能です。QuickTime Proへのアップグレードは、アップルコンピューター･インクのホームページ(http://www.apple.com/jp/quicktime/)で行えます。
*2：フォトエクスプローラまたはMovieWriterをインストールすると、カメラで撮影した動画クリップ(MPEG-4)をWindows Media Playerで再生できます。
アップデートの情報は、下記のホームページで確認してください。
http://www.ulead.co.jp/

Windows

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が出ます。
- インストール画面が出ない場合は、マイコンピュータにある[Sanyo Disc(D:)]をダブルクリックし、[Sanyo Disc(D:)]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。

  ※ドライブ名(D:)は、お使いのコンピュータによって異なります。

Windows(つづき)

2 インストールするアプリケーションソフトウェアの名称をクリックする

- インストール画面に出たアプリケーションソフトウェアの名称をクリックすると、インストールを開始します。
- [もっとムービーを撮ろう]をクリックするとインターネットに接続し、このカメラを楽しんでいただくためのヒントを紹介しているホームページを表示します。
- [ユーザー登録やXactiの情報]をクリックするとインターネットに接続し、ユーザー登録やXactiの関連情報を掲載しているホームページを表示します。
- インストールプログラムは、各アプリケーションソフトウェアが正しくインストールできるよう、あらかじめ設定しています。パソコンに慣れていない方は、各ダイアロクボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- アプリケーションソフトウェアのユーザー登録に関するダイアログボックスが出た場合は、何も入力せずに[次へ]ボタンをクリックしてください。
- パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合は、パソコンを再起動してください。
- 各アプリケーションソフトウェアの詳細設定については、アプリケーションソフトウェアベンダーのホームページ、またはインストール後にオンラインヘルプを参照してください。

iTunesについて：
http://www.apple.com/jp/itunes/

フォトエクスプローラ、MovieWriterについて：
http://www.ulead.co.jp/

3 [終了]をクリックする

Kodakオンラインサービスについて

- インストールが閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。このホームページを見る場合は[今すぐおすすめ情報を見る]、見ない場合は[あとでおすすめ情報を見る]オプションボタンをONにして、[OK]ボタンをクリックしてください。

Macintosh

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)をCD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、CD-ROMのウィンドウが開きます。
- CD-ROMのウィンドウが開かない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコン[Sanyo　Disc]をダブルクリックしてください。

2 インストールする

①[iTunes]フォルダにある[iTunes-1.dmg]をダブルクリックする
- ・「iTunes7.0.2」ウィンドウが開きます。

②[iTunes.mpkg]をダブルクリックする
- ・インストールを開始します。
- ・メッセージに従って、インストールしてください。

フォトエクスプローラの使いかた

カメラのデータをパソコンにコピーするには、マイコンピュータからカメラのドライブを開いて目的のデータをパソコンにコピーする方法と、フォトエクスプローラを使ってコピーする方法があります。ここでは、フォトエクスプローラでカメラのデータをパソコンにコピーする方法を説明します。フォトエクスプローラについての詳しい説明は、フォトエクスプローラのヘルプを参照してください。

環境を設定する

データのコピー元(カメラ内のデータの場所)を設定します。

1 カメラをカードリーダーモードにする [P162]

- 「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスが出ます。
- カメラに装着したカードの内容を示すウィンドウ(XACTI HD2(E:))が開いた場合は、クローズボックスをクリックして閉じてください。

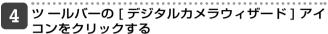
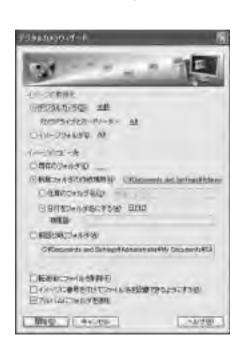
2 「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスの「常に選択されたプログラムで開く」チェックボックスを ON にし、[OK] ボタンをクリックする

- 「ファイルのコピー先・・・」ダイアログボックスが出ます。
- 「常に選択されたプログラムで開く」チェックボックスをONにすると、次回から「Ulead AutoDetector」ダイアログボックスは開きません。

3 「Ulead Photo Explorer を開く」オプションボタンを ON にして [OK] ボタンをクリックする

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

環境を設定する(つづき)

4 ツールバーの [デジタルカメラウィザード] アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが出ます。

5 「カメラドライブとカードリーダー」の右にあるドライブ名(A：￥)をクリックする

● 「イメージソースを選択」ダイアログボックスが開きます。

6 「カメラドライブまたはメモリーカードリーダー」オプションボタンを ON にし、「場所」リストボックスのカメラのドライブを選んで [OK] ボタンをクリックする

- 「カメラドライブとカードリーダー」の右側のドライブ名が、操作 6 で指定したドライブに変わります。
- このままカメラに装着したカードのデータを読み込む場合は、[開始]ボタンをクリックしてください。カードのデータは、My Documents￥SANYO_PEXにコピーします。
- 設定だけを行う場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
- 「カメラウィザード」ダイアログボックスが閉じます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

画像データをパソコンにコピーする

カメラに装着したカード内の画像データを、パソコンにコピーします。

1 カードリーダーモードにする [P162]

2 フォトエクスプローラを起動する

3 ツールバーの [デジタルカメラウィザード] アイコンをクリックする

- 「デジタルカメラウィザード」ダイアログボックスが開きます。

4 [開始] ボタンをクリックする

- コピーを開始します。
- 以下のフォルダ内に日付と時間名のフォルダを自動的に生成し、その中にデータをコピーします。
  ¥My Documents¥SANYO_PEX
- コピーが終わったら、コピーの完了を示すダイアログボックスが出ます。

5 コピーが終わったら、[OK] ボタンをクリックする

- コピーしたデータをサムネイルウィンドウに表示します。

フォトエクスプローラでできること

フォトエクスプローラは、デジカメ画像からDVカメラのビデオファイル、MP3･WAVなどの音声ファイルまでマルチファイルを視覚的に統合管理できるソフトです。

基本画面

階層表示ウィンドウ

フォルダツリー構造をリストで表示できます。

サムネイルウィンドウ

さまざまなファイル形式データを一度にサムネイルに表示することができます。
フォルダ内の指定した複数のファイル名を一括して変更できます。

プレビューウィンドウ

選択したファイルを表示することができます。
動画クリップ・音声データが再生できます。

スライドショー

画像をいろいろ並べながら、スライド形式で画像を見ることができます。

フォトエクスプローラの使いかた(つづき)

画像管理や編集ができます

再生機能

画像をフルサイズまたは全画面で表示することができます。
キーボード入力やツールバーボタンのクリック、メニュー選択で、画像の閲覧やスライドショー再生などの操作ができます。

画像管理・編集機能

画像データのコピーや削除、ファイル名の変更ができます。
また、回転やフリップなど、編集したデータを保存することもできます。

画像調整

切り抜きやコントラスト、明るさやカラーバランスなどの調整が簡単にできます。
作成したイメージを壁紙やスクリーンセーバーに利用できます。

豊富なスライドショー機能

スライドショー

静止画と動画クリップが混在したスライドショー再生ができます。
画面が切り替わる時のエフェクトパターン(切替効果)も、数多く用意しています。

動画クリップデータのデータ形式を変換できます

デジタルカメラで撮影した動画クリップ(Quick Time 形式)をAVI 形式や MPEG 形式などに変換することができます。

■フォトエクスプローラのお問い合わせは?

フォトエクスプローラに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせ先は、以下のとおりです。

メールでのお問い合わせURL
http://www.ulead.co.jp/support/inquiry/techsupport.htm

テクニカルサポートページ
http://www.ulead.co.jp/support/

TEL:045-226-1966
受付時間:月曜日〜金曜日(土、日、祝、年末年始を除く)
10:00〜12:00、13:00〜17:00

＜シリアル番号の見かた＞
●フォトエクスプローラの[ヘルプ]メニューから[Ulead Photo Explorer バージョン8.5]を選んでください。製品情報を記載したダイアログボックスが出ますので、シリアル番号を確認してください。

スクリーンキャプチャー

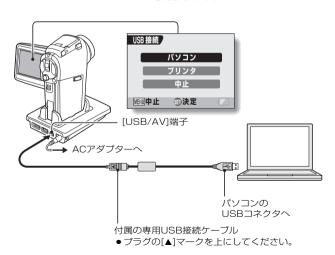
パソコンのモニター表示をウィンドウ単位でカメラに保存することができます。

スクリーンキャプチャーモードにする

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでドッキングステーションをパソコンに接続する

- ドッキングステーションの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

2 [ON/OFF] ボタンを押してカメラの電源を入れ、カメラをドッキングステーションにセットする

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

3 [パソコン]を選び、[SET]ボタンを押す

- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。

4 [スクリーンキャプチャー]を選び、[SET]ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

スクリーンキャプチャー(つづき)

パソコンの画面をカメラに保存する

1 Screen Capture を起動する

- Screen Captureは、パソコンを起動すると自動的に起動します。

<Screen Captureを終了するには>

- タスクトレイの[Xacti Screen Capture 1.1]を右クリックし、[アプリケーションの終了]を左クリックしてください。終了を確認する画面が出ますので、[はい]を左クリックしてください。
- Screen Captureを再度起動する場合は、[スタート]→[プログラム]→[Xacti Screen Capture 1.1]をポイントしてください。

2 カメラに保存したいウィンドウをパソコンのモニターに表示する

- 保存するウィンドウをアクティブにしてください。

3 静止画撮影ボタンを押す

- 表示中のアクティブウィンドウをビットマップイメージでカメラに保存します。
- アクティブなウィンドウがない場合は、全画面を保存します。
- 保存データは、カメラのドライブ:¥DCIM¥***SANYOフォルダに格納します。
- スクリーンキャプチャーを終了するには、Screen Captureを終了してください。

ヒント

- スクリーンキャプチャーは、カメラを1台だけ接続して行ってください。
- 保存できる1画面当たりの最大ファイルサイズは10MBです。
- スクリーンキャプチャーを行っている時に、カメラの電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。データが壊れる原因になります。
  また、カメラに装着したカードのデータをパソコンから操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

PCカメラとして使うには

Windows XP をお使いの場合、カメラをパソコンに接続し、PC カメラとして使うことができます。カメラを PC カメラとして使う場合は、Windows XP SP2 をインストールしてください。
PC カメラ機能は、Windows messenger 5.0 以降または MSN messenger 7.0 以降上で使用できます。

パソコンに接続する前に

以下のアップデートを実行してください。

- WindowsXP を SP2 にする
  WindowsXP SP2 をインストールしてください。
- Windows messenger 5.0 以降をインストールする
  Windows messenger 5.0 以降をダウンロードし、インストールしてください。
  ※アップデートについての詳細は、下記のホームページで紹介しています。
  http://www.sanyo-dsc.com/dsc/support.html
- MSN messenger を使う場合は、MSN messenger 7.0 以降をインストールしてください。

注意!

- PCカメラ機能が使えるのは、Windows XPをプリインストールしたパソコンのみです。
- PCカメラでは、ズームはできません。また、撮影・配信できるのは画像のみです。音声を記録・配信することはできません。
- PCカメラ時、カメラは1秒間に最大15フレームの撮影ができますが、通信回線の状態やパソコンの処理速度によってはこれを下回る場合があります。

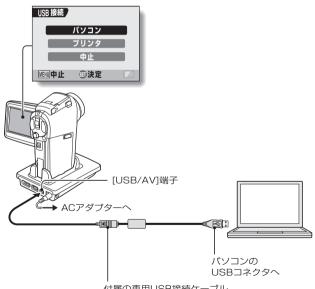
PCカメラとして使うには(つづき)

パソコンにカメラを接続する

1 **パソコンを起動し、付属の専用 USB 接続ケーブルでカメラをドッキングステーションに接続する**

- ドッキングステーションの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

2 **[ON/OFF] ボタンを押してカメラの電源を入れ、カメラをドッキングステーションにセットする**

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

付属の専用USB接続ケーブル
- プラグの[▲]マークを上にしてください。

3 [パソコン] を選び、[SET] ボタンを押す

- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。

4 [PC カメラ] を選び、[SET] ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

ヒント

[マイコンピュータ]に[USB Video Device]アイコンが出ない場合は

- デバイスドライバのインストールに失敗している可能性があります。[コントロールパネル]の[プリンタとその他のハードウェア]を開き、[スキャナとカメラ]から[USB Video Device]を削除し、デバイスドライバを再度インストールしてください。

MTPモードで接続する

パソコンの OS に Windows Vista をご使用の場合は、MTP モードで接続することができます。

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでドッキングステーションをパソコンに接続する

- ドッキングステーションの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

2 [ON/OFF] ボタンを押してカメラの電源を入れ、カメラをドッキングステーションにセットする

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

3 [パソコン] を選び、[SET] ボタンを押す

- パソコンの接続モードを選ぶ画面が出ます。

4 [MTP] を選び、[SET] ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

MovieWriter について

MovieWriterは、ビデオや音楽、写真、データなどパソコンで扱うさまざまなファイルをディスクに書き込む統合ツールです。SANYO Software Packには、機能をDVDのオーサリングに絞った機能限定版を格納しています。MovieWriterの使用方法については、[プログラム] → [Ulead DVD MovieWriter 5] → [User Manual] から [DVD MovieWriter ユーザーガイド] を選ぶと表示されるマニュアルを参照してください 。

MovieWriterの主な機能

●ビデオディスクの新規作成

新しくDVDまたはVideo CD形式のディスクを作成することができます。デジタルムービーカメラ、DVカメラ、デジタルカメラ、ビデオテープやテレビ番組などの映像を取り込み、効果をかけたり編集した映像データをディスクに書き込みます。

●HDモード動画クリップ編集

HDモードで撮影した動画クリップを編集し、HD MPEG4形式のままファイルとして取り出せます。

●スライドショーの作成

デジタルカメラで撮影した静止画像などでスライドショーを作成し、DVDやCDディスクに書き込むことができます。写真の整理や管理に最適です。

●ディスクに直接録画

DVカメラやビデオテープ、テレビ番組などを再生しながら直接DVDディスクに書き込むことができます。

●ディスクコピー

ディスクからディスクへ、データをコピーすることができます。DVDディスクをはじめ、音楽CDやMP3ファイルを集めたディスク、データディスクのコピーができます。

注意!

- MovieWriterは、コピーガードやスクランブルなどの著作権保護を施している製品をDVDディスクに録画することはできません。

その他の便利な機能

●**ファイル変換機能**
MovieWriterに読み込んだファイルの形式や画質を変更して保存することができます。

●**ディスクイメージから書き込む**
DVDビデオを作製する際に、同じ内容をハードディスクにイメージファイルとして保存することができます。このファイルを使用して、ディスクにデータを書き込みます。

●**ディスクラベルの作成**
DVDやCDディスクに張るラベルを作成することができます。市販のラベル用紙に印刷し、DVDやCDディスクに張ります。

■MovieWriterのお問い合わせは？

MovieWriterに関するお問い合わせは、「ユーリードシステムズ株式会社」へお願いいたします。
お問い合わせの先は、以下のとおりです。

メールでのお問い合わせURL
http://www.ulead.co.jp/support/inquiry/techsupport.htm

テクニカルサポートページ
http://www.ulead.co.jp/support/

TEL：045-226-1966
受付時間：月曜日～金曜日（土、日、祝、年末年始を除く）
10:00～12:00、13:00～17:00

＜シリアル番号の見かた＞
MovieWriterの環境設定アイコンから
[Ulead DVD MovieWriter]を選んでください。
製品情報を記載したダイアログが出ますので、シリアル番号を確認してください。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　問	原　因	このようにしてください
電源	電源が入らない？	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	充電しても、すぐに電池がなくなる？	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
	充電が終わらない？	電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換する。それでも充電が終わらない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	表示が出る？	電池残量が少なくなった	付属のACアダプターを使用するか、充電済みの電池に交換してください。
撮影	マルチインジケータが赤色に点滅している？	記録データをカードに書き込んでいる	故障ではありません。マルチインジケータが消灯するのを待ってください。
	フラッシュが光らない？	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している？	―	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは？	—	7M-S 7M-H 10M 5.3M：サイズがA4以上の印刷やトリミング（部分拡大）して印刷する場合に適しています。 2M 0.9M：通常の写真（サービス版）サイズで印刷する場合に適しています。 0.3M ▭：ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
	デジタルズームと光学ズームの使い分けは？	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはCCDに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
	遠景撮影時のピント外れをなくすには？	—	シーンセレクト機能を風景モード▭に設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカスMFにして、焦点距離を∞に設定してください。
	屋外で撮影した動画クリップが真っ白になっている？	—	フリッカー軽減の設定をOFFにしてください。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？	モニターの性質による現象	故障ではありません。 輝点などはモニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？		
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、静止画撮影ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに静止画撮影ボタンを静かに押してください。
	画像の一部が欠けている？	近くで撮影した	被写体が近い場合は、モニターで構図を確認して撮影してください。
	画像が出ない(?表示が出る)？	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	このカメラで撮影したカードを再生してください。
	縦の縞模様が出る？	明るい被写体を動画クリップ撮影した時は、モニターや撮影画像に縦の縞模様(スミア)が発生することがある	故障ではありません。

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い？	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い？	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。
	パソコンで加工した画像や音声をカメラで再生したい？	—	パソコンで加工したデータの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
	動画再生でモーター音のような音がする	カメラの動作音を録音した	故障ではありません。
テレビでの再生	音声が出ない？	テレビのボリュームが小さくなっている	テレビのボリュームを調整してください。
		カメラの音量設定が 0 になっている	カメラの再生音量を上げる。
	通常の映像（コンポジットビデオ）出力、S 映像出力、プログレッシブ /HDMI 出力の違いは？	—	通常の映像（コンポジットビデオ）出力：輝度信号と色信号を合成して出力します。 S 映像出力：輝度信号と色信号を別に出力します。 プログレッシブ/HDMI 出力：輝度信号と青色差信号、赤色差信号をそれぞれ別に出力します。 画質は、通常の映像（コンポジットビデオ）出力→ S 映像出力→プログレッシブ /HDMI 出力の順で高画質になります。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
テレビでの再生	専用 S-AV 接続ケーブルと専用 D 端子ケーブルを同時に接続して映像を出力できますか？	—	同時に出力できません。どちらか一方だけを接続してください。
	専用D端子ケーブルでカメラをテレビに接続したのですが、テレビに映像が出ません	テレビの設定が480i(D1)または1125i(D3)になっている	テレビの設定を480p(D2)または720p(D4)にしてください。
印刷	PictBridge印刷中にメッセージが出た？	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。
その他	[動画編集できません] 表示が出る	異なる動画モードで撮影した動画クリップをつなぎ合わせようとした	同じ動画モードで撮影した動画クリップを選択してください。
	充電中、テレビやラジオからノイズが出る？	AC アダプターからの電磁波が影響している	テレビやラジオから離れた場所で、充電してください。
	[カード残量がありません] 表示が出る？	カードに空き容量がない	不要なデータを消去するか空き容量のあるカードを使用してください。
	「カードロックされています」表示が出る？	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない？	カメラの回路が一時的に異常になった	AC アダプターおよび電池を取りはずししばらく放置した後、電池を入れ直してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	記録や再生ができないなどの不調が発生する	カードの動作不良	推奨するカードを使ってください。推奨するカードは下記のホームページで確認してください。 http://www.sanyo-dsc.com/
		カードに、このカメラ以外の機器で記録したファイルを格納している	大切なファイルを保存した後、カードをフォーマットしてください。
	海外で使用できる?	—	このカメラは日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。ただし、テレビの方式は「PAL」と「NTSC」が切り替え可能です。ACアダプターや電源コードについては、最寄のお客さまご相談窓口にご相談ください。
	[システムエラー]表示が出る?	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても[システムエラー]表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

困った状態になった時

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

カメラ

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換するまたは、AC アダプター（付属）を接続する	27・31・34
		電池が正しく入っていない	電池の向きに注意し、正しく入れる	
	なにもしていないのに電源が切れた	パワーセーブ機能が働いた	電源を入れる	37
撮影	静止画または動画録画ボタンを押しても撮影ができない	電源が入っていない	パワーセーブ機能が働いている時は、電源を入れた後、撮影する 電源が切れている場合は、[ON/OFF] ボタンを押す	37
		撮影可能枚数/時間いっぱいに撮影している	カードを交換する	25
			不要な画像を消去してから撮影する	107
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	68
		電池が消耗している	電池を充電するか、充電済み電池と交換するまたは、AC アダプター（付属）を接続する	27・31・34

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	デジタルズームが使えない	静止画モードを 10M に設定している デジタルズームの設定を [OFF] にしている	静止画モードの設定を 7M-H 以下にする デジタルズームの設定を [ON] にする	81・142
	操作音が短い周期でピピピと鳴り、セルフタイマー撮影ができない	電池が消耗している	十分に充電した電池を装着する または、AC アダプター（付属）を接続する	27・31・34
	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありません ズームスイッチをはなし、再度押す	67
	撮影画像にノイズが出る	ISO感度が高すぎる	ISO感度を低く設定する	92
	アイコンが出て、撮影できなくなった	カメラ内部の温度が高温になった	撮影を中止し、温度が下がるのを待ってから使用を再開する	―
	動画クリップ撮影中に静止画を撮影すると、動画クリップ撮影が一瞬止まる	静止画モードを 2M 以上に設定している	静止画モード設定を 0.3M 以下に設定する HD モードでは 0.9M に設定する ただし、シーン機能を に設定している場合は、0.9M 以下に設定しても止まる	81
モニター	再生画像が出ない	メインスイッチが [PLAY]に合っていない	メインスイッチを [PLAY] に合わせる	49・54

困った状態になった時（つづき）

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	44
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	225
		逆光で撮影した	強制発光モードで撮影する	68
			露出補正をする	70
			スポット測光をする	91
		光量が不足していた	ISO 感度を設定する	92
	動画クリップ画像がちらつく	蛍光灯の下で撮影した	フリッカー軽減の設定をする	141
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	68
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	70
		ISO感度の設定が正しくない	ISO感度の設定を ISO-A にする	92
	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	撮影可能な範囲で撮影する フォーカスを正しく設定する	88
		フォーカスの設定が正しくない		
		静止画撮影ボタンを押す時にカメラが動いた（手ぶれ）	カメラを正しく構え、静止画撮影ボタンを半分押し、ピントを固定してから、さらに静止画撮影ボタンを静かに押す	44・52
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	―

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	68
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	93
	画像の一部が欠けている	レンズに指やネックストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップなどがかからないようにする	44
	[画像がありません]表示が出る	装着しているカードにデータがない	撮影または録音してから再生する	ー
	音声が出ない	カメラの再生音量設定が小さくなっている	再生音量を調節する	104
	再生画像が横に長い？	動画モードを TvSDV に設定して撮影した	故障ではありません。TvSDV に設定して撮影した画像をパソコンのモニターで再生すると、画像が横に長くなる場合があります。	ー
テレビでの再生	画像の色が出ない 画像が乱れる	TV 出力の設定が違っている	TV 出力を正しく設定する	145
		専用 S-AV 接続ケーブルと専用 D 端子ケーブルを同時に接続している	正しく接続する	171
	画像・音声が出ない	カメラとテレビの接続がまちがっている	正しく接続する	169
		テレビの入力が[テレビ]になっている	テレビの入力を[ビデオ]にする	

困った状態になった時（つづき）

	困った状態	原因	このようにしてください	参照ページ
テレビでの再生	音声が出ない	カメラの再生音量設定が小さくなっている	再生音量を調節する	104
テレビでの再生	画像の端が切れる	テレビの特性による	故障ではありません	―
画像編集	画像の加工や回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除してください。	105
充電	ドッキングステーションに装着したカメラの電池が充電できない	ドッキングステーションにACアダプターを接続していない	ACアダプターの電源コードを正しく接続する	27
		ドッキングステーションにカメラを正しく接続していない	ドッキングステーションとカメラがしっかり接続するように、カメラを上から押さえる	32
		カメラが撮影モードになっている	カメラを再生モードにするかカメラの電源を切る または、ドッキングステーションの動作モードボタン[(⚡)]を押して、充電ランプを点灯する	49・54
その他	[カードを入れてください]表示が出る	カードを装着していない	電源を切ってから、カードを装着する	25
	[プロテクトされています]表示が出て、データを消去できない	消去しようとしているデータにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	105

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
その他	音声ガイドが出ない	[音声ガイド]を[OFF]にしている	[ON]にする	135
	「撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間[P228]」に記載の記録ができない	記録容量が、カードに表示している数値より少ない	カードの仕様によっては、カードに表示している記録容量を持たない場合があります。詳しくは、カードの説明書をご覧ください。	228
	電池が膨らんでいる	電池使用に伴う変化 リチウムイオン電池は、通常の正しい使用であっても充放電回数が増えると徐々に寿命に近づき、それに伴って少し膨らむ傾向がある	安全上の問題はありません。電池の消耗が早いなどの場合は電池の寿命です。新しい電池に取り替えてください。	33

ドッキングステーション

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
リモコン	リモコン操作ができない	リモコンをテレビに向けて操作している（カメラの受光部に向けていない）	リモコンをカメラの受光部に向ける（受光部から水平左右30度以内）	28・29
		リモコンと受光部との間に障害物がある	障害物を取り除くか、避けて使う	
		電池が消耗している	新しい電池に交換する	
		電池の入れかたがまちがっている	極性（⊕⊖）に注意し、正しく入れる	
		リモコンと受光部の距離が遠すぎる	7 m以内のところで操作をする	
		リモコンとカメラのリモコンコードが違っている	リモコンコードの切り替えをする	30

困った状態になった時(つづき)

シーンセレクト機能およびフィルター機能設定時の制限事項

シーンセレクト機能の制限事項

設定	注意点
スポーツ	フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません。
ポートレート	
風景	
夜景ポートレート	
花火	フォーカスレンジ：[∞] に固定です。 フラッシュ：[発光禁止] に固定です。
ランプ*	静止画モード：0.3M 0.9M に設定できます。 フラッシュ：[発光禁止] に固定です。 ノイズ軽減：[OFF] に固定です。

＊暗い場所で動画クリップ撮影をした場合、明るく撮影するためにシャッタースピードが下記の値まで遅くなります。ただし、フリッカー軽減機能[ON]設定時、動画クリップ撮影でのシャッタースピードは1/50秒に固定です。

撮影モード設定[P79]	シャッタースピード
30fps(フレーム/秒)	1/15秒

この状態で撮影した動画クリップの再生画像は、動きが多少粗くなる場合があります。

フィルター機能の制限事項

設定	注意点
コスメ	フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません 。
モノクロ	静止画モード：10M は設定できません 。 フォーカスレンジ：[マクロ] は設定できません 。
セピア	

シーンセレクト機能とフォーカスレンジ設定について

- フォーカスレンジを[マクロ]に設定すると、シーンセレクト機能はAUTOになります。
- フォーカスレンジを[標準][マクロ]またはMFに設定しても、シーンセレクト機能をAUTO[スポーツ][ポートレート][風景]に設定すると、フォーカスレンジの設定は[マクロ標準]になります。

仕　様

カメラの仕様

形式	デジタルムービーカメラ(記録・再生型)
記録画像ファイルフォーマット	**静止画像：**JPEG形式 (DCF、DPOF、Exif Ver2.2準拠) (注) DCFは(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**ISO標準MPEG-4フォーマット準拠 **音声：**MPEG-4オーディオ(AAC圧縮)48kHzサンプリング、16ビット、ステレオ
記録媒体	SDメモリーカード(最大8GB SDHCメモリーカードに対応)
カメラ部有効画素数	約710万画素
撮像素子	1/2.5型CCD、総画素数：約738万画素、インターレーススキャン、原色カラーフィルター
静止画撮影モード(記録画素数)	10M：3,680×2,760ピクセル 7M-H：3,072×2,304ピクセル(約700万画素：低圧縮) 7M-S：3,072×2,304ピクセル(約700万画素：標準圧縮) 5.3M：3,072×1,728ピクセル(約530万画素) 2M：1,600×1,200ピクセル(約200万画素) 0.9M：1,280×720ピクセル(約90万画素) 0.3M：640×480ピクセル(約30万画素) 連写：640×480ピクセル(約30万画素：連写)
動画クリップ撮影モード(記録画素数・フレームレート・ビットレート)	HDモード HD SHQ：1,280×720 30fps 9Mbps HD HQ：1,280×720 30fps 6Mbps ノーマルモード TV SDV：720x480ピクセル 30fps 3.5Mbps TV SHQ：640x480ピクセル 30fps 3Mbps TV HQ：640x480ピクセル 30fps 2Mbps Web SHQ：320x240ピクセル 30fps 640Kbps Web HQ：320x240ピクセル 15fps 384Kbps ※このカメラの30fpsは29.97fps、15fpsは14.985fpsです。

ホワイトバランス	フルオートTTL、マニュアル設定可能
レンズ	光学10倍ズームレンズ f=6.3mm～63.0mm （35mmフィルムカメラ換算 38mm～380mm） オートフォーカス、9群12枚 （非球面3枚5面使用） ガルバノメータ方式絞り機構 NDフィルター搭載
絞り	開放F=3.5(Wide)～3.5(Tele) 最小F=8.0(Wide)～8.0(Tele)
露出制御方式	プログラムAE/シャッタースピード優先AE/絞り優先AE/マニュアル露出制御 撮影設定画面による露出補正機能あり(0±1.8EV 0.3EVステップ)
測光方式	多分割測光、中央重点測光、スポット測光
撮影範囲	全域モード ：10cm～∞(Wide端) ：1m～∞(Tele端) ノーマルモード ：80cm～∞ スーパーマクロモード：1cm～1m(Wide端のみ)
デジタルズーム	撮影時：1～約10倍 再生時：1～58倍(解像度により異なる)
シャッタースピード	静止画撮影モード：1/2～1/2,000秒 （最長約4秒：シーンセレクト機能ランプ時） （フラッシュ発光時：1/30～1/2,000秒） 連写撮影モード：1/15～1/2,000秒（フラッシュ非発光） 動画クリップ撮影モード：1/30～1/10,000秒 （最長1/15秒：シーンセレクト機能ランプ時）
感度	静止画撮影モード(標準出力感度*)： オート(ISO50～400)/ISO50、100、200、400、800、1,600(撮影設定画面による切り替え) ※感度はISO(ISO12232：2006)準拠の測定方法による。 動画クリップ撮影モード： オート（ISO200～1,600相当）/ISO200、400、800、1,600、3,200相当(撮影設定画面による切り替え) ※シーンセレクト設定時、ISO感度3,200相当まで増感

仕　様（つづき）

<table>
<tr><td>最低被写体照度</td><td colspan="2">18ルクス（HDモード・ノーマルモード 30fps AUTO時、1/30秒）
7ルクス（HDモード・ノーマルモード 30fps HIGH SENSITIVITY（高感度）モードまたはランプモード時、1/15秒）</td></tr>
<tr><td>手ぶれ補正</td><td colspan="2">電子式（動画クリップ撮影モードのみ）</td></tr>
<tr><td>モニター</td><td colspan="2">アモルファスシリコンTFT　カラー液晶透過型
15万画素（視野率：約100%）</td></tr>
<tr><td>フラッシュ撮影範囲</td><td colspan="2">GN=6.4 { 約35cm〜2.5m（Wide）
約1m〜2.5m（Tele）</td></tr>
<tr><td>フラッシュモード</td><td colspan="2">自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減</td></tr>
<tr><td>フォーカス</td><td colspan="2">TTL方式AF（静止画撮影モード:9点測距/スポット、動画クリップ撮影モード:コンティニュアス）・マニュアルフォーカス（22段階）</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="2">作動時間:約2秒/10秒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用環境</td><td>温度</td><td>0〜40℃（動作時）
−20〜60℃（保管時）</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td>30〜90%（動作時、非結露）
10〜90%（保管時、非結露）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源</td><td>電池</td><td>リチウムイオン電池（DB-L40）×1個</td></tr>
<tr><td>ACアダプター（付属）</td><td>VAR-G8</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>4.0W（リチウムイオン電池使用・記録時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">大きさ（突起部含まず）</td><td>80（幅）×119（高さ）×36（奥行き）mm（最大寸法）　体積：約204cc</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約210g（本体のみ（電池・カード別））</td></tr>
</table>

カメラ各端子の仕様

<table>
<tr><td rowspan="5">[USB/AV]
（通信/音声・映像出力）端子</td><td colspan="2">専用ジャック</td></tr>
<tr><td>音声出力</td><td>265mVrms(−9dBs)･12kΩ以下･ステレオ</td></tr>
<tr><td>映像出力</td><td>1.0Vp-p･75Ω不平衡･同期負･コンポジットビデオ
日米標準NTSCカラーTV方式/PALカラーTV方式(オプション画面による切り替え)</td></tr>
<tr><td>S映像出力</td><td>Y信号:1.0Vp-p･75Ω不平衡･同期負
C信号:0.286Vp-p･75Ω不平衡
日米標準NTSCカラーTV方式/PALカラーTV方式(オプション画面による切り替え)</td></tr>
<tr><td>USB</td><td>USB 2.0 High-Speed</td></tr>
<tr><td>[COMPONENT]
480p(D2)、720p(D4)出力端子</td><td colspan="2">480p(D2)、720p(D4)映像出力対応
Y信号：1.0Vp-p　75Ω不平衡　同期：3値
PB&PR信号：0.7Vp-p　75Ω不平衡</td></tr>
<tr><td>[HDMI]端子</td><td colspan="2">映像出力
総走査線数(有効走査線数)：750p(720p)/
525p(480p)
音声出力：L-PCM　48kHzサンプリング</td></tr>
<tr><td>[MIC](マイク入力)
端子</td><td colspan="2">φ2.5mmステレオミニジャック(付属のマイク接続用ケーブルにてφ3.5mmステレオミニジャックに変換) 2kΩ
感度:−42db以下、プラグインパワー型</td></tr>
<tr><td>DC IN
（外部電源入力)端子</td><td colspan="2">DC5V
（付属のACアダプターVAR-G8専用)</td></tr>
</table>

電池寿命

撮影時	静止画撮影モード	180枚：CIPA規格によります（ハギワラシスコム製512MB SDメモリーカード使用時）
	動画クリップ撮影モード	85分：HD-SHQモード（1,280×720ピクセル、30fps）で撮影した場合
再生時		220分：モニターを点灯し、連続して再生した場合

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用した時は、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間

市販品のSDメモリーカード(1GB、2GB、4GB)を使用した場合の撮影可能枚数と撮影可能時間は以下のとおりです。

撮影/録音モード設定	画質設定	SDメモリーカードの種類		
		1GB使用時	2GB使用時	4GB使用時
静止画撮影モード	10M	297枚	596枚	1,190枚
	7M-H	285枚	568枚	1,130枚
	7M-S	427枚	849枚	1,700枚
	5.3M	568枚	1,120枚	2,250枚
	2M	1,510枚	2,950枚	5,900枚
	0.9M	3,090枚	6,200枚	12,410枚
	0.3M	7,740枚	15,500枚	31,020枚
動画クリップ撮影モード	HD SHQ	14分22秒	28分46秒	57分34秒
	HD HQ	21分20秒	42分42秒	1時間25分
	TV SDV	35分49秒	1時間11分	2時間23分
	TV SHQ	41分23秒	1時間22分	2時間45分
	TV HQ	1時間00分	2時間00分	4時間1分
	Web SHQ	2時間38分	5時間17分	10時間36分
	Web HQ	3時間49分	7時間39分	15時間18分
音声記録モード	ー	16時間49分	33時間40分	67時間23分

- Web SHQの連続撮影時間は、最大5時間30分です。また、Web HQの連続撮影時間は、最大7時間です。
- 音声の連続記録時間は、最大13時間です。
- 8GBのカードを使用し、動画クリップ撮影をしている場合、記録中のデータのサイズが約4GBになると、撮影を終了します。
- 上記はSandisk製SDメモリーカードを使用した値です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影(録音)時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

仕　様（つづき）

ドッキングステーションの仕様

品番		PDS-HD2
電源		DC5V
定格出力		DC5V
使用 環境	温度	0〜40℃（充電時）、－20〜60℃（保管時）
	湿度	20〜80%（非結露）
大きさ		80.4（幅）×38.3（高さ）×105.5（奥行き）mm
質量		約77g

リモコンの仕様

品番	BRC-C2
電源	リチウム電池（CR2025）
大きさ	32.4（幅）×68（高さ）×15.6（奥行き）mm
質量	約16g（電池を含む）

マルチインジケータについて

カメラのマルチインジケータは、さまざまな動作状態によって点灯、点滅、消灯します。

点灯/点滅状態			カメラの状態
緑色	点灯		パソコン接続時
	点滅		パワーセーブ状態
オレンジ色	点灯		テレビ接続時
赤色	点灯		プリンタ接続時
	点滅	遅い	セルフタイマー撮影中
		速い	カードアクセス中
		さらに速い	電池充電エラーまたはカメラ内部温度上昇

充電ランプについて

充電ランプは、充電の状態とセルフタイマーの動作を示します。

点灯	充電中
点滅(遅い)	充電エラー
点滅(速い)	セルフタイマー動作中
消灯	充電完了

付属のACアダプターの仕様

品番		VAR-G8
電源		AC100V〜240V, 50/60Hz
定格出力		DC5V 2.0A
使用環境	温度	0〜40℃(動作時)、−20〜60℃(保管時)
	湿度	20〜80%(非結露)
大きさ		49.5(幅)×25.5(高さ)×68.3(奥行き)mm
質量		約169g(電源コードは含まず)
電源コードの定格		AC125V、5A

● 付属のACアダプターを海外でお使いになる場合は、電源コードをご使用になる地域や国にあったものに取り替える必要があります。詳しくは、お買い上げ販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口[P242]」にお問い合わせください。

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-L40
電圧		3.7V
定格出力		1,200mAh
使用環境	温度	0～40℃（機器使用時・充電時） －10～30℃（保管時）
	湿度	10～90%（非結露）
大きさ		53.4（幅）×6.0（高さ）×35.5（奥行き）mm
質量		約23g

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。
- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

CD-ROM の使用許諾について

- 本CD-ROMを無断で複製することはできません。
- 本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
- 本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

Mac OS、QuickTime、iTunesは米国アップルコンピューター社の米国およびその他の国における登録商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、 Microsoft® Windows® XP operating system日本語版、Microsoft® Windows® Vista operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

SDHCは商標です。

HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索　引（50音順）

名称・用語

操作

あ行

か行

さ行

索　引（50音順）（つづき）

た行

は行

ま行

付録

索引

用語集

あ

赤目
目の血管にフラッシュの光が反射して、瞳孔部分が赤く写ってしまう現象。夜の屋外などの暗い場所で、目の瞳孔が開いているときに生じやすい。

か

解像度
ある一定の範囲内に点または線が何個あるかを示すことによって、その画像のキメの細かさを表す尺度。たとえば、dpi（ドット･パー･インチ）という場合は、1インチ内に含まれるドットの数を表す。

光学ズーム
従来は単に「ズーム」といっていたが、デジタルカメラの普及でデジタルズームと区別するために使う。実際にレンズを動かして焦点距離を変えることで、レンズに入った光がCCDに像を結ぶまでの距離が変わる。レンズの焦点距離を短くすると広い範囲が写り広角となり、焦点距離を長くすると写る範囲が狭くなるが遠くのものが大きく写り、望遠となる。
参照：焦点距離

さ

絞り
目の瞳のようにレンズの開口部を大小調節し、光の量を制限する機構。絞りによって調整される値を「絞り値」または「F値」といい、「F1、F1.4、F2、F2.8、F4……」と表記される。この数値を大きくすることを「絞る」、小さくすることを「開ける」という。絞りの数値が大きくなると、それだけCCDに当たる光の量が少なくなる。

シャッタースピード（シャッター速度）
時間によってCCDに当たる光の量を制限する機構。メカニカルシャッター搭載機の場合は、機械的な遮断幕を使い、電子シャッター搭載機の場合は、CCDのON/OFFによって時間を制御する。 シャッタースピードを速くすると、それだけCCDに光が当たる時間が短くなる。

焦点距離
レンズの中心点からレンズが像を結ぶ点（焦点）までの距離をmmで表したもの。同じ位置から撮影する場合、この数値が長いほど被写体は大きく写り（望遠）、短いほど小さく写る（広角）。なお、同一の焦点距離であっても、CCDのサイズが異なれば、画面に写る範囲は違ってくる。そのため、デジタルカメラの場合は35mmフィルムの焦点距離に換算して表記する。

シーンセレクトショット
スポーツモード、ポートレートモード、夜景ポートレートモードなど、撮りたいシーンに合わせてモードを選ぶだけで、絞りやシャッタースピードを自動で設定できる機能。カメラに詳しくなくとも、簡単に綺麗な写真が撮れる。例えば、スポーツモードは高速シャッターをきりたいとき、ポートレートモードは（ぼけを引き出すために）できるだけ開放F値に近い絞り値で撮影したいときに使う。

スポット測光
画面内の狭い一部分だけを測光する方式。画像の特定の部分に正確な露出が必要な場合に適している。舞台照明（スポットライトを浴びている人物の撮影）や逆光での撮影など、主要被写体と背景との間に大きな明るさの差がある場合に役立つ。

スミア
太陽などの強い光源を画面中に入れて撮影した場合に発生する光の筋で、

CCDを使用する機器で起こる現象（強い光源を撮影したときに、垂直転送路に電荷が流れ込んで発生する）。

スローシンクロ
低速シャッターを使いながら、同時にストロボを発光させること。通常のストロボ発光モードの場合は、手ブレの生じにくいシャッタースピードに自動設定される。ところが、スローシンクロモードの場合は、その自動設定が解除され、低速シャッターを使うことができるので、意図的にブレを表現したり、ストロボ光の届かない背景まで明るく写し出すことができる。

た

デジタルズーム
撮影時に画像の1部分を切り取って拡大し、望遠レンズを使ったようにみせる機能。この場合、焦点距離を変える通常の光学式ズームに比べて画質は劣る。デジタルズームが登場したため、レンズを動かして実際の焦点距離を変えるズームを「光学ズーム」と呼んで区別するようになった。

テレ
望遠のこと。ズームレンズの望遠側、つまり焦点距離の長い側を指す。

な

ノイズ
撮影時に入るゴミのようなドットのこと。画像を拡大すると分かるが、本来ないはずの色が、ドット単位で点在する。発生原因はいくつかあるが、CCDはシャッター速度が一定以上遅くなるとノイズが増加する傾向にある。

ノイズリダクション
撮影時に入るノイズを取り除くこと。パソコン上でソフトを使って行うことができる。撮影時（主にスローシャッター時）にノイズリダクションを行えるデジタルカメラもある。

は

被写界深度
ピントが合っているように見える範囲。レンズはCCD上に面として被写体を結像させるが、ピントを合わせた面の前後の範囲内もピントが合っているように見える。この範囲のことを指す。なお、被写界深度は、レンズの焦点距離が長いほど浅く（ピントのあう範囲が狭く）、短いほど深い（ピントのあう範囲が広い）。また、絞りを開けるほど浅くなり、絞るほど深くなる。

フラッシュ
シャッターと同時に瞬間的な光を発する照明装置。ストロボやスピードライトともいう。デジタルカメラに内蔵されたフラッシュは自動調光式なので、最適な露光値になるように瞬間的に発光量を制御するセンサーが搭載されている。

ホワイトバランス設定
様々な光源の下で白い色を決めること。また、さまざまな色温度を持った光源下で白い被写体を白く写すための機能。白はすべての色の基準となるので、白を決めれば自然な色合いで撮影することができる。人間の眼には高性能のホワイトバランス機能があるので普段意識することはないが、CCDやフィルムでは、電球下では赤く写ったり、蛍光灯下では緑色に写る（色の補正がされない）。機種によってオート・固定・マニュアルの違いはあるが、デジタルカメラやビデオカメラには必ず搭載されている。

ら

露出

CCDに光を当てること。もしくは、その量を示す。光を当てすぎると写真が白く(明るくなり過ぎに)なり、少ないと写真が黒く(暗くなり過ぎに)なる。白くなり過ぎる場合はオーバー(露出オーバー)と呼び、黒くなり過ぎる場合はアンダー(露出アンダー)と呼ぶ。

露出補正

カメラに内蔵された露出計は、その被写体状況を十分に判断できないことがままある。特に白い被写体や黒い被写体は、アンダーやオーバーになりやすい。そこで、カメラの判断した露出に対して、より明るく、または暗く写るように補正を加えること。また、意図的に明るく写したり、暗く写したりする場合にも使用する。

A

AE

「Auto Exposure(自動露出)」の略。被写体の明るさをカメラが判断して、自動的に露出を決めてくれる機能のこと。大別すると、プログラムAE、絞り優先AE、シャッタースピード優先AEの3タイプがある。 プログラムAEでは、状況に合わせて最適な絞りとシャッタースピードの組み合わせをカメラが自動的に判断してくれる。

C

CCD

「Charge Coupled Device」の略。レンズから入った光を感じて電気信号に変換するセンサーのこと。画像を取り込む、銀塩カメラでいうフィルムに相当する部分。トンボの複眼のように小さな目が並んでおり、その数が画素数(総画素数)となる。そこから出力される情報のうち、静止画データとして有効に反映される画素の数を「有効画素数」と呼ぶ。CCDを日本語で「電荷結合素子」ともいう。

E

EV

「Exposure Value」の略。露光量を表す単位で、絞り値F1.0でシャッタースピード1秒の露光量を「EV0」と定め、そこから絞り値またはシャッタースピードが1段上がるごとに「EV1、2、3･･･」と増えていく。

F

F値

絞りの数値。カタログのスペックを見る場合、大文字の「F」の場合はレンズの明るさ（開放絞り値）を表し、数値が小さいほど暗い場所でも比較的速いシャッタースピードを使うことができる。小文字の「f」の場合はレンズの焦点距離を表す。

fps

「Frame Per Second」の略。1秒間に何枚の画像を表示しているかを示しており、動画のなめらかさを表す。

H

HDMI

High Definition Multimedia Interfaceの略。主に家電やAV機器向けのデジタル映像・音声入出力インターフェース規格。1本のケーブルで映像・音声・制御信号を合わせて送受信するので、取り回しが容易になっている。オプ

ションで制御信号を双方向に伝送させることができ、機器間を中継させることで1台のリモコンから複数のAV機器を制御できるようになる。

I

ISO感度
フィルムの光に対する敏感さを数値化したもので、最適な再現をするために必要な露光量の目安数値にもなる。ISOとは国際標準化機構のこと。デジタルカメラの場合はこのような基準がないため「ISO100相当」のように目安として数値が大きいほど、暗い場所での撮影に強いことを示す。

J

JPEG
画像を効率よく圧縮アルゴリズムを使った画像ファイル形式を指す。容量を小さくできるので多くのデジタルカメラに使われている。非可逆圧縮なので、圧縮率を高くすればするほど元画像クオリティは損なわれてノイズが生じる。

P

PictBridge（ピクトブリッジ）
デジタルカメラとプリンタを直接つないで印刷するための業界標準規格。CIPA（カメラ映像機器工業会）によって策定された。デジタルカメラと対応プリンターを付属のケーブルで接続するだけで、パソコンを介さず直接写真のプリント指示ができる。メーカーが違っても、双方がPictBridge対応ならばUSBケーブルで接続して印刷可能。カメラの液晶モニターでプリントしたい写真を選ぶことができ、プリントメニューも表示される。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談　三洋電機(株)お客さまセンター

受付時間：9：00〜18：30(365日)

総合相談窓口　☎ **050−3116−3434**

※上記番号をご利用できない場合は ☎ **大阪(06)−6994−9570** におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2−5−5

FAX：大阪(06)6994−9510

修理サービスについてのご相談　三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日〜金曜日　9：00〜18：30
　　　　　土曜・日曜・祝日　9：00〜17：30

修理相談窓口

◆東コールセンター

関東・甲信越地区	東　京	☎ 050−3116−2222 ☎ 東京(03)5302−3401
	福　島	
	新　潟	
	長　野	
北海道地区	札　幌	☎ 050−3116−2333
東北地区	宮　城	☎ 050−3116−2444

お客さまご相談窓口（つづき）

◆ 西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	大　阪	☎ 050−3116−2555 ☎ 大阪(06)4250−8400
	金　沢	
	高　松	
中部地区	名古屋	☎ 050−3116−2666
中国地区	広　島	☎ 050−3116−2777
九州地区	福　岡	☎ 050−3116−2888

沖縄地区	沖　縄	☎ 098−9444−5018

受付時間：月曜日～土曜日　9:00～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談 三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日～土曜日　9:00～17:30(日曜、祝日を除く)
持込み修理および部品については、各地区サービスセンターで承っております。

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
  なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取扱いについての詳細
ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

北海道地区

北海道

札　幌　☎(011)831−9201
〒003-0013　札幌市白石区中央三条4−1−36

函　館　☎(0138)48−8301
〒041-0824　函館市西桔梗町 589−295

苫小牧　☎(0144)57−8707
〒059-1364　苫小牧市沼ノ端230−1034

旭　川　☎(0166)22−2421
〒070-0073　旭川市曙北三条7−3−3

北　見　☎(0157)23−4871
〒090-0037　北見市山下町4−7−14

釧　路　☎(0154)22−1576
〒085-0035　釧路市共栄大通3丁目1番6号青木ビル

東北地区

宮城県

仙　台　☎(022)287−8351
〒984-0032　仙台市若林区荒井字丑ノ頭43−1

青森県

青　森　☎(017)729−3401
〒030-0141　青森市大字上野字山辺29−5

八　戸　☎(0178)28−9225
〒039-1121　八戸市卸センター1−6−7

岩手県

盛　岡　☎(019)623−1600
〒020-0824　盛岡市東安庭2−12−1

水　沢　☎(0197)23−6621
〒023-0003　奥州市水沢区佐倉河字羽黒田45

山形県

山　形　☎(023)641−1769
〒990-2331　山形市飯田西4−5−35

酒　田　☎(0234)23−3817
〒998-0842　酒田市亀ケ崎6−7−16

東北地区

秋田県

秋　田　☎(018)862−6551
〒011-0901　秋田市寺内イサノ93−1

福島県

郡　山　☎(024)945−6793
〒963-0107　郡山市安積3−120

関東・甲信越地区

埼玉県

さいたま　☎(048)778-3095
〒362-0025　上尾市上尾下780−1

坂　戸　☎(049)284−8900
〒350-0214　坂戸市千代田5−3−17

栃木県

栃　木　☎(028)614−3883
〒321-0111　宇都宮市川田町字免ノ内765−5

茨城県

茨　城　☎(0298)64−4751
〒300-3261　つくば市花畑2−15−3

水　戸　☎(029)251−4125
〒311-4152　水戸市河和田3−2386−1

群馬県

群　馬　☎(0270)40−7611
〒372-0003　伊勢崎市華蔵寺町87−1

新潟県

新　潟　☎(025)285−2431
〒950-0942　新潟市小張木2−16−43

長　岡　☎(0258)46−8065
〒940-2127　長岡市新産2−9−4

上　越　☎(025)543−3535
〒942-0081　上越市五智1−11−8 齊藤オフィス

お客さまご相談窓口（つづき）

関東・甲信越地区

東京都

城　東　☎(03)5697−8160
〒120-0005　足立区綾瀬7−22−15
綾瀬7丁目ビル

城　北　☎(03)5914−3413
〒174-0051　板橋区小豆沢（アズサワ）
1−23−10

城　西　☎(03)5347−0761
〒167-0032　杉並区天沼3丁目12番12号
テック杉並

武蔵野　☎(042)364−7721
〒183-0033　府中市分梅町5−9−1

相模原　☎(042)788−2760
〒194-0012　町田市金森851−3

神奈川県

戸　塚　☎(045)827−2831
〒224-0806　横浜市戸塚区上品濃9−14

京　浜　☎(044)740−3530
〒211-0041　川崎市中原区下小田中
5−11−21

平　塚　☎(0463)55−3926
〒254-0014　平塚市四之宮3−20−60

千葉県

千　葉　☎(043)208−3800
〒260-0842　千葉市中央区南町3−7−15

鎌ケ谷　☎(047)441−0111
〒273-0105　鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

山梨県

山　梨　☎(055)226−2561
〒400-0035　甲府市飯田4−8−23

中部・北陸地区

愛知県

名古屋　☎(052)979−3455
〒461-0025　名古屋市東区徳川1−901
サンエース徳川ビル1F

名古屋西　☎(052)485−3620
〒453-0816　名古屋市中村区京田町2−1

岡　崎　☎(0564)23−3418
〒444-0860　岡崎市明大寺本町1−20

岐阜県

岐　阜　☎(058)246−3417
〒501-6006　岐阜県羽島郡岐南町伏屋
1−35

静岡県

静　岡　☎(054)236-0691
〒422-8034　静岡市駿河区高松2丁目
26−10

沼　津　☎(055)935−0501
〒410-0822　沼津市下香貫七面1152−2

浜　松　☎(053)461−8685
〒430-0812　浜松市本郷町123

長野県

松　本　☎(0263)40−3411
〒390-0852　松本市島立1064−1

長　野　☎(026)299−9501
〒388-8006　長野市篠ノ井御幣川字東松島
1000−2

石川県

金　沢　☎(076)292−2060
〒921-8005　金沢市間明町2−100

富山県

富　山　☎(076)422−7020
〒939-8211　富山市二口町1−13−8

福井県

福　井　☎(0776)53−7134
〒910-0834　福井市丸山1−1002

三重県

三　重　☎(059)236− 5195
〒514-0111　津市一身田平野285−2

近　畿　地　区	中　国　地　区

大阪府
大　阪　☎(06)6992－6235
〒570-0086　守口市竹町4－13
大阪南　☎(06)6761－4600
〒543-0001　大阪市天王寺区上本町5－1－14　三洋ビル2F
大阪東　☎(072)965－1811
〒578-0903　東大阪市今米2－3－29
阪　和　☎(072)221－8571
〒590-0026　堺市向陵西町2－1－24

京都府
京　都　☎(075)645－1434
〒612-8427　京都市伏見区竹田真幡木町26－1
三　丹　☎(0773)24－3405
〒620-0062　福知山市和久市町290番地　和久市岩堀ビル2F

奈良県
奈　良　☎(0744)22－7888
〒634-0817　橿原市寺田町113－1

滋賀県
滋　賀　☎(077)514－2221
〒524-0021　守山市吉身4丁目1－24　南井産業第3ビルB棟

和歌山県
和歌山　☎(073)473－7112
〒640-8301　和歌山市岩橋1636－1
田　辺　☎(0739)22－7520
〒646-0051　田辺市稲成町南江原318

兵庫県
神　戸　☎(078)641－1251
〒653-0038　神戸市長田区若松町2－1－9　ピアザビル3F
阪　神　☎(06)6432－3401
〒661-0026　尼崎市水堂町4－17－6
姫　路　☎(0792)82－7892
〒670-0943　姫路市市之郷町1－9
淡　路　☎(0799)42-6015
〒656-0478　南あわじ市市福永536－1

中　国　地　区

広島県
広　島　☎(082)293－6511
〒733-0012　広島市西区中広町2－1－2
福　山　☎(084)954－4101
〒721-0952　福山市曙町4－22－10

岡山県
岡　山　☎(086)245－1634
〒700-0973　岡山市下中野703－101
津　山　☎(0868)22－6133
〒708-0002　津山市上河原239－10

鳥取県
鳥　取　☎(0857)24－2930
〒680-0843　鳥取市南吉方3－107

島根県
浜　田　☎(0855)22－7883
〒697-0023　浜田市長沢町3049
松　江　☎(0852)23－1183
〒690-0044　松江市浜乃木2－15－3

山口県
山　口　☎(083)973－3391
〒754-0024　山口市小郡若草町2－6

四　国　地　区

愛媛県
愛　媛　☎(089)979－3486
〒799-2655　松山市馬木町274番地
四　国　☎(0896)23－3416
〒799-0404　四国中央市三島宮川2丁目732－4

香川県
香　川　☎(087)843－1840
〒761-0101　高松市春日町片田1657－1

高知県
高　知　☎(088)831－2570
〒780-8007　高知市仲田町6－12

徳島県
徳　島　☎(088)699－4131
〒771-0219　徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189－1

お客さまご相談窓口（つづき）

九州地区	九州地区
福岡県 **福　岡　☎(092)928－3414** 〒818-8534　筑紫野市紫6－1－1 **北九州　☎(093)521－5286** 〒802-0004　北九州市小倉北区鍛冶町2－4－7 **中九州　☎(0942)37－3934** 〒830-0038　久留米市西町105－18 **長崎県** **長　崎　☎(095)813－3545** 〒851-0101　長崎市古賀町1006－5 **佐世保　☎(0956)31－7635** 〒857-1162　佐世保市卸本町17－1 **熊本県** **熊　本　☎(096)388－3434** 〒861-8045　熊本市小山3丁目2番11号 熊本トラックターミナル内 **八　代　☎(0965)35－3483** 〒866-0871　八代市田中東町12－7 **大分県** **大　分　☎(097)543－3454** 〒870-0829　大分市椎迫5－6組	**宮崎県** **宮　崎　☎(0985)29－3441** 〒880-0022　宮崎市大橋3－224 **鹿児島県** **鹿児島　☎(099)251－4615** 〒890-0068　鹿児島市東郡元町11－10 **沖縄地区** **沖縄県** **沖　縄　☎(098)944－5018** 〒903-0103　沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■この商品は保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から１年間です

- 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、このカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口[P242]」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1. 故障の状況(できるだけくわしく)
2. 品番(DMX-HD2)
3. 製造番号(保証書に記入)
4. お買い上げ年月日(保証書に記入)
5. おなまえ、おところ、電話番号

アフターサービスについて(つづき)

総合相談窓口　受付時間：9：00〜18：30(365日)

修理のご依頼やご相談は、まずはお買い上げ販売店へお申し出ください。
家電製品についての全般的なご相談は下記にお問い合わせください。

☎ 050−3116−3434

※上記番号をご利用できない場合は **☎大阪(06)−6994−9570**
にお かけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2−5−5
FAX：大阪(06)6994−9510

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または三洋コンシューママーケティング(株)の「修理相談窓口 [P242]」にお問い合わせください。

この商品に関するご相談は下記にお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日（祝日および当社の休日を除く）

9:00〜12:00、13:30〜17:00

DIカンパニー　お客さま相談係

電話　大東（072）870-4184（直通）

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。お問い合わせなどの時に便利です。

品　　番	DMX-HD2
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	電話(　　)　―
もよりのお客さまご相談窓口	電話(　　)　―

以下の項目をご確認のうえ、お問い合わせください。

お客さまチェックシート		
カードの種類	容量：	
	メーカー名：	
	お買い上げ年月日：　年　月　日	
パソコンのOS	□Windows 2000 □Windows XP □Windows Vista	□Mac OS 9.x □Mac OS X以降

撮影のヒント

難しく思える被写体でも、少し工夫をすると、より上手に撮影できます。

基本的な撮影

■オートフォーカスなのにピントが合わないのはなぜ？

このカメラはオートフォーカス機能を搭載しており、オートフォーカスを使った撮影では、カメラがピントを自動的に合わせます。しかし、それでもピントが合わないのはなぜでしょうか？

●オートフォーカスの動作

このカメラのオートフォーカスは、静止画撮影ボタンを半分押した時点で動作します。
オートフォーカスが働いてピントが合うと、モニターにターゲットマークが出ます。
そして、そのまま静かにシャッターボタンを押し込むとシャッターが切れます。
このようにして撮影をすると、ピントが合います。

●ピントが合わない原因

1：静止画撮影ボタンを一気に押した

2：ピントを合わせた後に、被写体が動いた

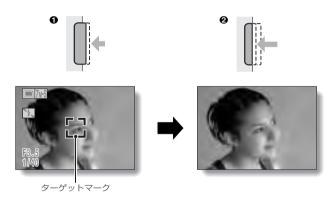
- 一度オートフォーカスでピントを合わせても、被写体や撮影者が動いて撮影距離が変わると、ピントが合わない場合があります。

3：フォーカスの設定が、撮影距離に合っていない

- スーパーマクロモード[P88]で遠景を撮影したり、通常モードで至近距離の被写体を撮影するとオートフォーカスが働かないので、ピントが合いません。

●ピントをしっかり合わせるには

①フォーカスの設定が正しいことを確認してください。
②カメラを正しく構えて静止画撮影ボタンを半分押してください。
③モニターにターゲットマークが出るのを待ち、ひと呼吸おいて静止画撮影ボタンを静かに押し込んでください。

このように、落ち着いて静止画撮影ボタンを操作すると、ピントが合った美しい写真を撮影することができます。

撮影のヒント(つづき)

■動きのある被写体の撮影は？

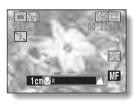
運動中のお子さまやペットなどの写真は、オートフォーカスでピントを合わせても被写体までの距離が刻々と変わるため、ピンボケになる可能性があります。特に、カメラに対して前後に動く被写体には、なかなかピントが合いません。動きのある被写体に、うまくピントを合わせる方法はないのでしょうか？

●ピンボケの原因

オートフォーカスは、静止画撮影ボタンを半分押した時点の距離にピントを合わせるため、被写体が動くとピントがはずれてしまいます。また、オートフォーカスが動作するのを待っていては、シャッターチャンスを逃してしまう場合もあります。逆に、シャッターチャンスに静止画撮影ボタンを一気に押すとピントが合わず、やはりピンボケの原因になります。

●ピンボケを防ぐには(マニュアルフォーカスモードを活用する[P89])

このカメラのフォーカス機能には、マニュアルフォーカスモードがあります。

静止画撮影ボタンを押した時に被写体までの距離を測ってピントを合わせるオートフォーカスに対し、マニュアルフォーカスモードでは、あらかじめピントを被写体までの距離に設定しておいて撮影します。

●撮影のしかた

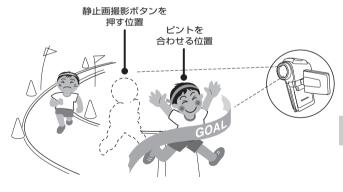
①フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定し、焦点距離を被写体までの距離に設定します。

②被写体が設定した焦点距離に来たら、静かに静止画撮影ボタンを押し込みます。

<マニュアルフォーカスの利点>

- ピント合わせに要する時間を省くことで、素早く撮影ができます。
- あらかじめ焦点距離を設定しているので、ピントをより正確に合わせることができます。

<マニュアルフォーカスの有効な使いかた>

- 動きが速い被写体を撮影する場合は、被写体が撮影距離に達する少し前に静止画撮影ボタンを押すと、被写体が撮影距離に達した時にシャッターを切ることができます。
- 被写体の手前にある物にピントが合ってしまうようなトラブルを防ぐことができます。

シーンセレクト機能を使った撮影

■人物を撮影しよう(ポートレートモード [icon])

ポイント：
- 目立つものが背景にないように注意する
- なるべく被写体に近づく
- 人物に当たる照明に注意する

解説：
- 背景に目立つものがある場合は、人物が引き立ちません。そこで、被写体に近づいたりズームアップして、背景が目立たないように撮影すると良いでしょう。
- ポートレート撮影では人物が主役になるので、人物が引き立つように撮影します。
- 逆光では顔が暗く写るので、フラッシュを使ったり露出を補正して撮影しましょう。

■動きのあるものを撮影しよう(スポーツモード [icon])

ポイント：
- 被写体の動きにカメラを合わせる
- ズームはWide(広角)側に
- チャンスには、ためらわずに静止画撮影ボタンを押す

解説：
- シャッターチャンスを逃さないように、カメラを正しく構え、常に被写体をレンズに捉えておきましょう。カメラとともに自分の体を動かしながら撮影してみるのも良いでしょう。
- 手ぶれは、Wide側よりTele側の方が出やすいので、ズームはできるだけWide側にして撮影します。
- シャッターチャンスが来たら、すばやくスムーズに静止画撮影ボタンを押しましょう。

■夜景を撮影しよう(夜景ポートレートモード [人物★])

ポイント：

- 手ぶれに十分気を使う
- ISO感度を上げる

解説：

- 夜景撮影では、シャッタースピードが遅くなるため、手ぶれが起きる可能性が高くなります。三脚を使うか、三脚がない場合は壁や柱を利用して、カメラを固定して撮影してください。
- 夜景を背景にして人物を撮影する場合は、フラッシュで人物の顔が明るくなり過ぎないよう、人物に近づき過ぎない距離で撮影してください。
- フラッシュ発光後、約2秒間は、カメラを動かしたり被写体の人物が動かないようにしてください。

■風景を撮影しよう(風景モード [風景])

ポイント：

- 高画質で撮影する
- ズーム撮影する場合は、光学ズームを使う
- 構図に配慮する

解説：

- 広角で撮影する場合や引き伸ばして写真にする場合は、なるべく高い解像度で撮影してください。
- 遠くの風景をアップで撮影する場合は、なるべく光学ズームで撮影してください。デジタルズームを使うと、画像が荒れます。また、脇をしめてしっかりとカメラを構え、手ぶれしないように気をつけてください。三脚などでカメラを固定すると良いでしょう。
- 遠近感や風景の中のポイントとなる被写体の配置など、構図に注意しましょう。